

月刊 Gs グラフィックサービス

No.839
2021
10

■ 巻頭言

もし村上春樹が、終電間際の地下鉄に乗ったら
——(株)向陽デジタルワークス 浅野健一

■ 巻頭企画

ジャグラー作品展入賞作品を決定

(株)リーブル・(株)洋文社・望月印刷(株)・恵友印刷(株)に大臣賞

■ 連載・シリーズ

ジャグラー DX 始動！④

中小印刷業の働き方改革を考える②

我が社の自費出版事情⑩

■ NEWSとお知らせ

2021年度・日印産連表彰

——ジャグラーから岩下・岡澤・原田3氏が表彰

日本自費出版文化賞大賞決まる



GS

No.839
2021
10

CONTENTS

■ 巻頭言

1 もし村上春樹が、終電間際の地下鉄に乗ったら

東京・文京支部長 / (株)向陽デジタルワークス 浅野 健一

■ 巻頭企画

2 ジャグラー作品展 9.13 最終審査会で入賞作品を決定

経産大臣賞に(株)リーブル (高知) と(株)洋文社 (東京・文京)
厚労大臣賞に望月印刷(株) (東京・城東) と恵友印刷(株) (東京・新宿)

■ 連載・シリーズ

10 ジャグラー DX 始動！④

地域活性化と DX の融合 (前編)

ジャグラー DXWG 委員 / (株)イナミツ印刷 稲満 信祐

19 中小印刷業の働き方改革を考える②

福島・キング印刷(株)さんの事例

30 我が社の自費出版事情⑩

山形・中央印刷(株)さんの事例

なかむら通信

会員の皆様へ



ジャグリストの皆さん、こんにちは。

会長の中村耀です。

新型コロナウイルスの感染拡大も落ち着いてきましたが、第六波への準備を怠るなとテレビ・新聞等マスコミの報道が続いており、まだまだ心は休まりません。

しかしこのような中でも米大リーグの大谷翔平選手や将棋の藤井聡太三冠の活躍には心がなごみます。彼らの活躍に、「今の若者は～」という紀元前からの常套句など忘れてしまい、若者に対する期待は大きくなるばかりです。

月刊

グラフィックサービス

発行 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

電子版無料公開中！

スマホでも本誌が読めます
公式HPで本誌PDF版を公開中！
毎月中旬、紙媒体より早くご覧いただけます
バックナンバー閲覧もここから



<https://www.jagra.or.jp/>

■ NEWSとお知らせ

13 ジャグラーBB HOTNEWS

16 自費出版セミナーのご案内

11.17「自費出版を電子出版する方法」

26 コンプライアンス セルフチェックシート

ジャグラーHPよりダウンロードできます

28 業界の動き

2021年度・日印産連表彰
ジャグラーから岩下・岡澤・原田3氏が表彰
ジャグラー高知有志が大阪JP展に出典

32 日本自費出版文化賞大賞決まる

大賞に埼玉県・藤沼敏子さんの作品

12 書籍案内

33 事務局日誌と今後の予定／事務局便り



本誌へのご意見・記事提供は下記まで
edit@jagra.or.jp



「ジャグラーBB」もご覧ください
経営・教育番組を多数配信！
jagrab.net

ジャグラーにおいてもDXWGで、岡本副会長はじめ若きジャグリストが議論を進めていますが、機関誌での報告を読みますと、その充実ぶりが垣間見ることができます。

この10年、20年のデジタル化のスピードと変化は大きく、それらへの対応に苦労していますが、今の若者は生まれた時からインターネットもスマートフォンもある時代に育った世代です。当然、おかしな人たちよりデバイスの使い方も馴れているでしょう。

年度末のDXWGの報告が楽しみです！

もし村上春樹が、 終電間際の地下鉄に乗ったら

東京・文京支部長 / (株)向陽デジタルワークス 浅野 健一



23時45分発、浅草行きの地下鉄。

僕はいつもの先頭車両に乗り込んだ。

まばらな座席にスマートフォンを見つめる乗客たち。

遠くから見ると、彼らはまるで初めて鏡に映る自分の姿を見た子熊のように見えた。

僕以外はみんなそうだったし、僕にだけそう見えていたのかもしれない。

「つぎはうえのです ひびやせん じゅーあーるせん けいせいせんは おのりかえです……」自動放送がおわっても沈黙はひどく重かった。

やれやれ。

と、村上春樹さん風に書いてみましたが……。なぜこんなことを気にかけてかという、仕事帰りの電車で、たまたまスマホの電池が切れてしまって、鞆の中にいた村上さんの文庫本を手にとりながら、ふとあたりを見回したからです。

10年前の電車内には、本や新聞・雑誌を読む方、カラフルな中吊り広告が溢れていたと記憶しています。そして、2021年、帰路につく人々のほとんどがスマホを手にしていきます。スマホでどんなことをしているか覗いてみると、

◎メッセージのやりとり

◎誰かが投稿したおしゃれな写真たち

◎時事ニュース・芸能記事

◎イケメンの海外ドラマ

◎株価・FXチャート

◎片手でできるゲーム

◎電子書籍

等々……。これが2021年の日常です。

インターネットとパソコン、特にスマホの普及は、我々の生活に大きな変化を引き起こしました。人はいろいろなカタチで、距離や時間の制限もなく、常に人とつながり続けることが可能になり、また、情報はシャワーのように、とめどなく浴びることができるようになりました。そして、自らも気軽に発信できるようになりました。今この瞬間にも、情報は、形や手段を変えながら大量に増え続けています。

うちに高校生がいますが、最近スマホを手に入れてから、ゲームや動画、SNS等をして、家の中でも肌身離さず持ち歩いています。理由を聞くと、「友達からいつメッセージがくるかわからないから見ておかないと……」だそう。

私が高校生のころは、放課後、近所の公園に行けば友人の誰かが必ずいました。そこで、先生への不満を言いあったり、音楽雑誌やテレビで仕入れた海外ロックバンドの話をしながら過ごしたものです。

今や、近所の公園というコミュニティは、グループチャットに置き換わり、音楽雑誌のかわりにアーティスト本人のSNSをフォローして、サブスクリプションの音楽配信サービスを利用すれば、世界中のアーティストの最新曲から昔のものまで、いくらでも聴くことができます。いろいろな物事が便利になりましたが、人の行動の本質は、今も昔も変わらないようです。

しかし、大量の情報があふれる中で、「はたして本当に価値のある情報にたどり着けるのか？」と、少し心配になります。

ビジネスにおいても、新型コロナにより、あらゆる業種の仕事環境や要件が大きく変化して、IT活用や再構築の流れが加速しています。この変化は、可能性を秘めたチャンスであり、自然界の法則のように、順応することこそ進化といえます。

我々ジャグリストは、アナログとデジタル技術の融合により、印刷産業に大きな変革を成し遂げました。そして、情報を扱う印刷メディアの専門家として、多様な業種・企業に対して、強固なつながりを持ち、顧客の課題を解決してきました。

インターネットが加速するデジタル社会のなか、「情報伝達のプロフェッショナル」集団として、ジャグラー会員の皆様が、ますます進化されますことを期待します。

巻頭言

9.13最終審査会で入賞作品を決定

経済産業大臣賞に (株)リーブル(高知)と (株)洋文社(東京・文京)
厚生労働大臣賞に 望月印刷(株)(東京・城東)と 恵友印刷(株)(東京・新宿)



令和2年度ジャグラ作品展の最終審査会が、9月13日、ジャグラ本部にて行われ、経済産業大臣賞・厚生労働大臣賞など、各部門の受賞作品が決定しました(7ページ参照)。作品展はコロナ禍の影響により前年度中止となったため、今回は平成31年1月より令和2年12月に制作された2年分の作品を対象に、出版印刷物、宣伝印刷物、業務用印刷物、開発・開拓部門の4部門で実施されました。

全国から401点の応募

ジャグラ作品展はコンクール委員会(岡澤誠委員長)の所管で昭和40年より開催されています。長年、会員企業自らが応募部門を選択する方式で行われてきましたが、「他の部門であれば入賞が見込めるのに」といった審査委員の意見もあり、平成22年度から審査委員が部門を決定する方式に変更されました。

今年度は平成31年1月1日より令和2年12月31日までに印刷(完成)された作品を対象に、令和2年12月1日より令和3年6月30日まで募集したところ、全国より401点の応募がありました。

部門決定の第一次審査会、最終審査への通過作品決定の第二次審査会を9月6日に同日開催し、下表のとおり各部門の応募作品の絞り込み、9月13日の最終審査会にて入賞作品を決定したものです。

部 門	応募数	通過数
[A] 出版印刷物部門	103	12
[B] 宣伝印刷物部門	101	12
[C] 業務用印刷物部門	102	12
[D] 開発・開拓部門	95	9
合 計	401	45

表彰式は11月12日に東京ドームホテルで開催される全国協議会の席上で行われます。

■第一次及び第二次審査の審査委員(敬称略)

岡澤誠/(有)中溝グラフィック、中村耀/NS印刷製本(株)、沖敬三/ジャグラ専務理事、大橋邦弘/(有)大橋印刷商会、尾形文貴/(株)みつわ、高橋亮太/(有)高橋平版社、谷口美穂/(株)アイト、上澤宏史/(株)クリエイティブ横浜、川井信良/(株)文伸、岩根順子/サンライズ出版(株)、谷麻雄/パソコン教室講師

■最終審査の審査委員(順不同・敬称略、欠席除く)

富田智/経済産業省商務情報政策局コンテンツ産業課課長補佐*、久米舞美/全国中小企業団体中央会・副参事、小野隆弘/(一社)日本印刷産業連合会・専務理事、石島暁子/(公社)日本印刷技術協会・研究調査部係長、幅和弘/日本印刷機材協議会・会長、石原智子/(学芸)日本プリンティングアカデミー・事務局長、金澤克明/(株)印刷出版研究所・取締役編集部長、新井秀夫/(株)日本印刷新聞社・取締役、時田清/(株)ビバン・編集長、楠本英夫/ニュープリンティング(株)・代表取締役、松村雄司/印刷時報(株)・取締役東京支社長、岡澤誠/(一社)日本グラフィックサービス工業会・コンクール委員長、中村耀/(一社)日本グラフィックサービス工業会・会長、沖敬三/(一社)日本グラフィックサービス工業会・専務理事

※経済産業省様はオブザーバーとして出席

経済産業大臣賞

仏画集 第四集 (株)リーブル/高知



経済産業省商務情報政策局長賞

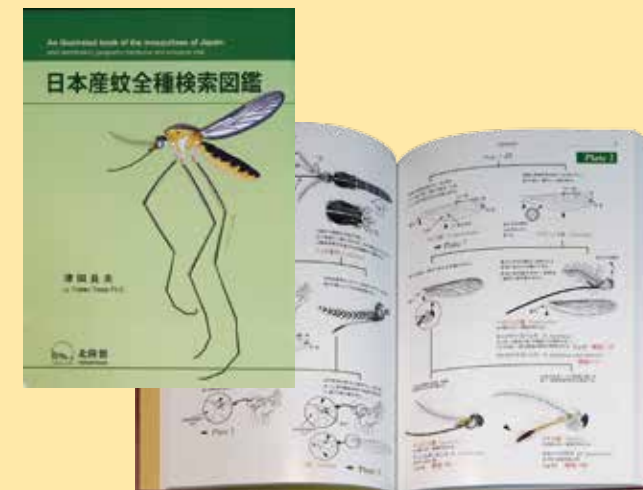
東京大学・十九世紀ミラビリア博物誌

秋田活版印刷(株)/秋田



全国中小企業団体中央会会長賞

日本産蚊全種検索図鑑 富士リプロ(株)/東京・千代田



(一社)日本印刷産業連合会会長賞

Baby in Me「わたしのカラダ絵本」

恵友印刷(株)/東京・新宿



ジャグラ会長賞

街道でめぐる滋賀の歴史遺産

サンライズ出版(株)/滋賀



出版

印刷物部門

経済産業大臣賞

穏りゆく自然、移りゆくアート (株)洋文社／東京・文京



厚生労働大臣賞

TANT ツール箱
望月印刷(株)／東京・城東



経済産業省商務情報政策局長賞

東京大学先端科学技術研究センター要覧 2019
(株)トライス／兵庫



全国中小企業団体中央会会長賞

多言語ガイドマップ(タイ語・ベトナム語)
長瀬印刷(株)／福島



全国中小企業団体中央会会長賞

KAAT「ドクター・ホフマンのサナトリウム」パンフレット
(株)野毛印刷社／神奈川



(公社)日本印刷技術協会会長賞

社会福祉法人三條会様 高校生向けパンフレット
(株)ニシキプリント／広島



ジャグラ会長賞

世田谷区玉川地域観光マップ(5言語対応版)
(有)プロテックス／東京・城西



日本印刷機材協議会会長賞

「シュルレアリスムとダリ」展図録
陽光社印刷(株)／福島



ジャグラ会長賞

中外化成 77 周年の軌跡
日々を新たに日々に進む
(株)文伸／東京・三多摩



業務用

印刷物部門

宣伝 印刷物部門

厚生労働大臣賞

「第26回いたばし国際絵本翻訳大賞」英語部門・イタリア語部門最優秀2作品
恵友印刷(株) / 東京・新宿



全国中小企業団体中央会会長賞

神津の桑和紙行燈 (株)興栄社 / 東京・城東



(学法) 日本プリンティングアカデミー賞

大河ドラマ放映に先駆けた関連企画の展開
明智光秀関連イベント・情報誌・書籍・ガイドブック
サンライズ出版(株) / 滋賀



ジャグラー会長賞

私の自分史年表 - 記憶から記録へ - (有)一粒社 / 愛知



開発・開拓 部門

ジャグラー作品展

各部門の入賞作品一覧

A. 出版印刷物部門

経済産業大臣賞	仏画集 第四集	(株)リーブル / 高知
経済産業省商務情報政策局長賞	東京大学・十九世紀ミラビリア博物誌	秋田活版印刷(株) / 秋田
全国中小企業団体中央会 会長賞	日本産蚊全種検索図鑑	富士リプロ(株) / 東京・千代田
(一社) 日本印刷産業連合会 会長賞	Baby in Me「わたしのカラダ絵本」	恵友印刷(株) / 東京・新宿
(一社) 日本グラフィックサービス工業会 会長賞	街道でめぐる滋賀の歴史遺産	サンライズ出版(株) / 滋賀
印刷時報(株)賞	谷口徳蔵の記「おかげさま」	(株)五六堂印刷 / 岩手
(株)印刷出版研究所賞	邪馬台国古備説からみた初期大和政権	(有)一粒社 / 愛知
作品展審査会委員長賞	ありがとう くるまのおいしゃさん	(株)北斗プリント社 / 京都
佳作	てらふら	(株)ウイング / 和歌山

B. 宣伝印刷物部門

経済産業大臣賞	稔りゆく自然、移りゆくアート	(株)洋文社 / 東京・文京
経済産業省商務情報政策局長賞	東京大学先端科学技術研究センター要覧 2019	(株)トライス / 兵庫
全国中小企業団体中央会 会長賞	多言語ガイドマップ(タイ語・ベトナム語)	長瀬印刷(株) / 福島
(公社) 日本印刷技術協会 会長賞	社会福祉法人三條会様 高校生向けパンフレット	(株)ニシキプリント / 広島
(一社) 日本グラフィックサービス工業会 会長賞	世田谷区玉川地域観光マップ(5言語対応版)	(有)プロテックス / 東京・城西
(株)日本印刷新聞社賞	四コマしおりと印刷業界マンガ「凸凹印刷所」	(株)イナミツ印刷 / 東京・港
作品展審査会委員長賞	紀州の玉子せんべいずかん	(株)ウイング / 和歌山

C. 業務用印刷物部門

厚生労働大臣賞	TANT ツール箱	望月印刷(株) / 東京・城東
全国中小企業団体中央会 会長賞	KAAT「ドクター・ホフマンのサナトリウム」パンフレット	(株)野毛印刷社 / 神奈川
日本印刷機材協議会 会長賞	「シュルレアリスムとグリ」展図録	陽光社印刷(株) / 福島
(一社) 日本グラフィックサービス工業会 会長賞	中外化成77周年の軌跡 日々を新たに日々に進む	(株)文伸 / 東京・三多摩
(株)ビバン賞	趣味の染色	富士リプロ(株) / 東京・千代田
印刷タイムス(株)賞	パピヨン・ドゥ・ギンザ 化粧箱 2種	キング印刷(株) / 福島
作品展審査会委員長賞	宇都宮市プレミアム付商品券事業 印刷物	(株)井上総合印刷 / 栃木

D. 開発・開拓部門

厚生労働大臣賞	「第26回いたばし国際絵本翻訳大賞」英語イタリア語部門最優秀2作品	恵友印刷(株) / 東京・新宿
全国中小企業団体中央会 会長賞	神津の桑和紙行燈	(株)興栄社 / 東京・城東
(学法) 日本プリンティングアカデミー賞	大河ドラマ放映に先駆けた関連企画の展開 明智光秀関連イベント・情報誌・書籍・ガイドブック	サンライズ出版(株) / 滋賀
(一社) 日本グラフィックサービス工業会 会長賞	私の自分史年表 —記憶から記録へ—	(有)一粒社 / 愛知
ニュープリンティング(株)賞	「栃木の武将「藤原秀郷」をヒーローにする会」	(株)みやもと / 栃木
作品展審査会委員長賞	壁に飾る一輪挿し「花一輪」	(有)高田商会 / 熊本



岡澤誠コンクール委員長

講評：2年分の作品評価で、見る方も力が入った！

審査後、各委員より、①企画力が例年に比して高い、②アイデアが抜きんでている、③写真と文字が高精細な作品、④バランスが良くキレイに仕上がっている、⑤子どもが喜ぶのはもちろんだが大人も楽しめる作品、⑥2年分の作品で重厚なもの、多様なものがあり、見る方も力が入った、⑦新しいマーケットへ挑戦したような作品、⑧DTPコンテストの良い部分が反映されているようだ、⑨業務の独創性があり、意外性がある、⑩高精細印刷・色彩の再現など難しいものでも成果を出している、⑪組版もしっかりしていて仕上がりも丁寧、等の意見を頂戴しました。

200人※の社長が決断。 30万人※の「働き方」を変えた。

国内約200社※の印刷会社が導入。その決断から生まれたのは、時間や場所に縛られない、自由なコミュニケーション環境。クライアントも含めた30万人のユーザーが、XMF Remoteで、新しい働き方を始めています。

※当社調べ



NEVER
STOP

Web ポータルシステム

FUJIFILM WORKFLOW
xmf Remote

■ XMFを活用されているお客さまの事例を多数ご紹介しています。

FFGS XMF



富士フイルム グローバル グラフィック システムズ株式会社

TOKYO QUALITY.

すべてのSPコミュニケーションに最良の品質を。



東京リスマチック株式会社

なんでも相談窓口

プリントデスク ☎ 0120-269-132

平日(月~金) 9:00~17:00 E-mail: support@lithmatic.co.jp



Lithmatic
http://www.lithmatic.net

ジャグラDX始動！④

地域活性化とDXの融合（前編）

ジャグラDXWG 委員 / (株)イナミツ印刷

稲満 信祐



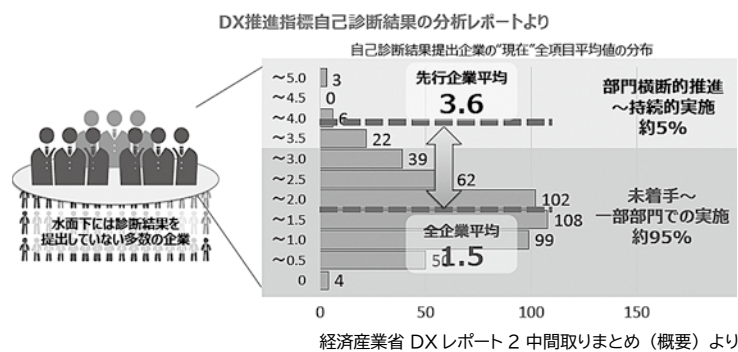
まえがき

今日ではDX（デジタルトランスフォーメーション）の言葉を聞かない日はないほど注目されています。しかし、その本質的な理解が浸透しないまま、新型コロナウイルスの脅威にも煽られ、焦りだけが先行してツール販売目的で開催されるオンラインセミナーで新たに登場するDXツールに、慌てて手を出してしまうという話を最近よく耳にします。まず一番大切なことは、DXとは何かを正しく理解することです。そこで、DXをより深く、より実践的に理解いただくため、前編『地域活性化とDXの融合』と後編『ジャグラDXの地域活性化事例』の2回に分けて説明します。2回の記事を通して、会員企業の皆様がDXをどのように活用し地域で生き残っていくかのヒントになれば幸いです。

経産省が定義するDXとは

（ご存じの方は飛ばしていただいて結構です）

私たち印刷業の所管官庁である経済産業省が2018年に公表したDXの定義は、「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」です。しかし、経済産業省が策定した「DX推進指標」に基づく推進状況調査に回答した企業のうち、約95%の企業が全く取り組んでいない、もしくは単発的な取り組みにとど



まっているという結果が報告されています。これは自己診断に基づく回答であり、実際には日本全体ではほぼ取り組みがされていないと推測されます。さらに、取り組んでいると回答した企業でも、「AIを使って何かできないか」「古いシステムの刷新がDXである」というような間違った理解もあり、DXの取り組みは思うように進みませんでした。

この結果を踏まえて、経済産業省が2020年12月に「DXレポート2」を発表しました。「企業文化からの脱却がDX推進の本質である」という認識のもと、コロナ禍を契機に企業が直ちにに取り組むべきアクションとして、以下の4つの方向性を提示しています。

- ①業務環境のオンライン化
- ②業務プロセスのデジタル化
- ③従業員の安全・健康管理のデジタル化
- ④顧客接点のデジタル化

「ジャグラ・ビジョン2010」からのヒント

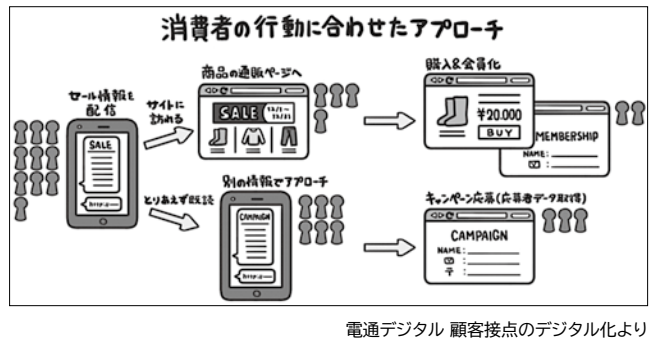
（これ重要です）

1994年に日軽印からジャグラへ名称変更した当時、通産省（現・経産省）は印刷業に対して「サービス業・ソフト産業としての性格を有し、いわば2.5次産業として日本経済の次代を担う可能性がある」と指摘しています。その考え方を具体的にとりまとめ2006年に発刊したのが「ジャグラビジョン2010」です。「顧客価値を捉えて受注から創注へ」という攻める姿勢を、7つの視点で説いています。

- ①経営者のリーダーシップ
- ②経営の社会的対応
- ③顧客・市場の理解
- ④戦略の策定と展開
- ⑤個人と組織の能力向上
- ⑥価値を生む生産力向上
- ⑦IT基盤の整備

ジャグラ会員としての基本指標である「ジャグラ・ビジョン2010」の上記7項目、前述の経産省「DXレポート2」

の4項目、そこに私たちジャグラDXワーキンググループが受注拡大のカギと考える「業態進化」「地域活性化」を合わせると、受注拡大には「DXレポート2」の④顧客接点のデジタル化をどのように展開するかがポイントになると考えます。

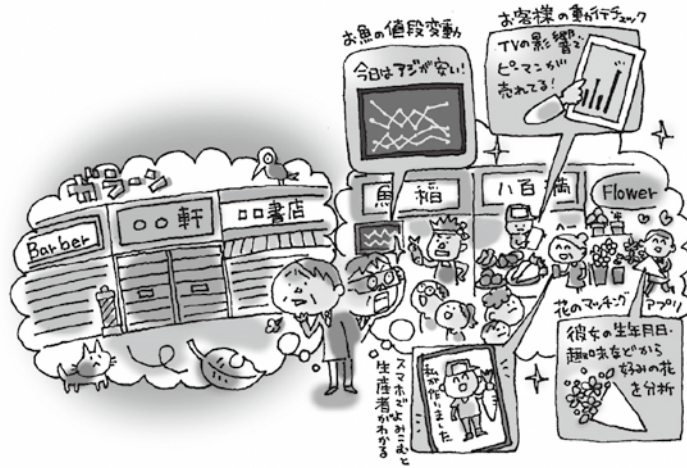


地域活性化とジャグラDXの考察 その1

私たちジャグラ会員のほとんどが、それぞれの地域に密接に関係した仕事に携わっています（もちろん県をまたいで大きな商いをしている会員もいらっしゃいますが、ここでは一般的会員を想定しています）。商圈10万人～30万人規模、従業員10名前後、年商約1億円、品種は商店街のチラシ・ポスター、学校のPTA新聞・学校案内、町内会の印刷物や役場の印刷物、選挙関係の印刷物などではないでしょうか。

これらは、目の前のお客様に対して印刷という手法でサービスを提供している、まさに地域密着の商売と言えます。そして印刷会社は、長きにわたり地域にとって無くてはならない存在でした。きっと知らず知らずのうちに地域の活性化に寄与していたはずです。

しかし、寄り添ってきたはずの地域、例えば商店街などがどんどん衰退していくのと同じように、私たちの存在もだんだん小さくなってきてはいませんか。そこで、今一度目の前のお客様を支え、地域密着＝印刷会社を再認識しDXを手段とした地域活性化を検討してみませんか。



地域活性化とジャグラDXの考察 その2

前述した通り、皆さんの商いは「地域密着」であり、少なからず「地域活性化」に貢献しています。印刷会社で取り組むことのできる「地域活性化」とは何なのか？DXワーキンググループ内での議論に先立って、会員企業が実際に取り組んでいる地域活性化について聞き取りを行いました。その中で共通するのが以下の5つの項目でした。

- ①マルシェの開催
- ②地域貢献によるネットワークと信頼の構築
- ③各地域の歴史掘り起こし
- ④地域コミュニティへの積極的にかかわり
- ⑤観光需要創出事業への参加

この5項目に共通するのは、地域コミュニティへの入り方と相談力です。会員企業が地元の企業や自治体、行政とのネットワークや信頼関係をどのような手段で構築しているかがポイントになっています。以下に実際の取り組み事例をいくつかご紹介しましょう。

【事例1】東日本大震災でのボランティア活動を通して知り合った町内会長と親しくなり、世間話からちょっとした相談が増え、手書き（アナログ）で運用されていた町内会総会資料のデータ化と印刷から配布まで提供し継続受注に繋がっている。

【事例2】自社の情報発信だけでは反響が薄いため、自社の取り組み活動に地域社会への貢献活動を組み込み、協力会社を巻き込んでマルシェ（イベント）を開いて地域貢献と事業の両立を図っている。

【事例3】数十年取引のある銀行や病院等との信用実績から、地場の活性化プロジェクトのプランナーから声をかけられ、オリジナル商品の開発・販売に取り組んでいる。

こういった例を挙げると、「そんなことは既にやっている」と思われる方もいらっしゃるでしょう。しかし先述の各会員企業は、さらにその先に仕掛けをしているという点で大きく異なります。お客様（もしくは地域コミュニティ



の仲間)からの要望を真摯に受け止め信頼関係を構築した上で、一歩踏み出す「攻め」に出ているのです。

地域にある問題を解決するために、自社の持っている技術やネットワーク(あるいは協力会社の技術)を使い、顧客に対して「弊社はこんなこともできるので、このジャンルのお客さんを紹介して欲しい!」と積極的に「攻め」となる逆提案をしています。信頼関係が構築できていれば、顧客はほぼ例外なく新規取引先候補もしくは事業の幅が広がる新しい仲間を紹介してくれます。そういった地域コミュニティの相談に対応し積極的に提案する攻めの姿勢が、新規顧客や事業領域を増やし、自社の事業継続・拡大に繋がっていきます。この姿勢こそ、私たちが考える「地域活性化」のキーワードです。全ての会員企業が、自社で取り組み可能なデジタルツールを使って顧客へ積極的にアプローチすることこそ、ジャグラ DX が目指す「地域活性化」であり、経産省「DX レポート2」が提唱する顧客接点のデジタル化なのです。

前編のまとめ

DXとは「AIを使って何かできないか」「古いシステムの刷新がDXである」ということではなく、人の手でやっていたやり方をデジタルツールに置き換えていくことです。一見簡単そうですが、今までやっていたやり方を変えるのは、ものすごくエネルギーを必要とします。社内での人しかできない仕事がある、あの人でないと動かせない機械がある…それが当たり前という会社が多くありませんか。DXは、この「当たり前」を変えていく原動力になり、企業文化を変えることができる手段だと思っています。

コロナ禍が長期化し、本当に厳しい状況が続いておりますが、今こそジャグラ会員みなで、諸先輩方が繋いで方向性を示してくれた「ジャグラビジョン2010」の「顧客価値を捉えて受注から創注へ」という攻める姿勢を持ち直し、強く生まれ変わらしましょう。

次回後編では、企業文化をDXで変え、「地域活性化」を積極的に提案する攻めの姿勢を持ちながら顧客へのアプローチを実践している事例をご紹介します。ご期待ください。

BOOK

お知らせ

感動と夢を与える新しい産業へ、共に進化しよう

日印産連刊『Change Together』

ニューコロナ時代の新たな印刷産業へ向けて

本号
同封

ジャグラなど印刷関連10団体で組織する一般社団法人日本印刷産業連合会(日印産連)は、このほど、新型コロナウイルス感染症の影響で浮き彫りになった印刷産業の課題と今後の取り組みについて、さまざまな調査や座談会などを経てまとめた『Change Together』を発行しました。今後のアフターコロナにおける経営のロードマップとしてご活用ください。

×

同書の構成

- ◎第1章：同会傘下10団体の会長による座談会。印刷産業の課題を解決するためには、業界の風土を改革しなければならないというテーマについて話し合ってもらいました。
- ◎第2章：10団体の会員企業を対象に、アフターコロナにいかに対応すべきか、アンケート調査を実施しました。
- ◎第3章：アフターコロナ時代に向けて、競争力のある企業づくりに取り組んでいる企業11社の事例を紹介。
- ◎第4章：印刷産業の主要な5市場における概況と、将来動向について、調査報告とディスカッションの内容を収録。
- ◎若手印刷人の座談会：10団体の若手経営者20名による座

談会を、3グループに分けて開催。具体的な事例を挙げながら未来へのビジョンを語り合っています。

◎提言：以上を踏まえ、これから我々が取り組むべきこと、日印産連が取り組むべきことを「提言」としてまとめました。

×

以上の目標を達成するために、我々が共に手を携えていきたいという思いを込めて、タイトルを『Change Together ～感動と夢を与える新しい産業へ、共に進化しよう～』としたものです。

【編集部より】中村会長はじめ、ジャグラ会員企業も複数社参加しておりますので、ぜひ一読お願いいたします。



ジャグラBB

JaGra Broadband Contents Service

HOTNEWS

2021年10月号

ジャグラが運営する、印刷業関連のセミナー、情報動画配信サイトです。2006年の開局以来、印刷業の情報収集、人材教育ツールとして多数の印刷会社に活用されています。

もう一度観たい!『読書の秋』ならぬ『鑑賞の秋』

JagraBB委員会が選ぶ

おすすめ番組ラインナップ!!

最新情報はWEBをチェック



【JNアーカイブス】
東京グラフィックスフェスタ2012
スカイツリーの麓で未来を描こう



カテゴリ ニュース JNアーカイブス



竹内謙礼の
「小さい会社こそ高く売りたい」
2015年ジャグラ全国協議会セミナー



カテゴリ セミナー 経営者向け



SPACE-21 全国協議会 石川大会 特別講演
金沢21世紀美術館
館長 秋元雄史氏
「金沢21世紀美術館による金沢ブランドの創出」



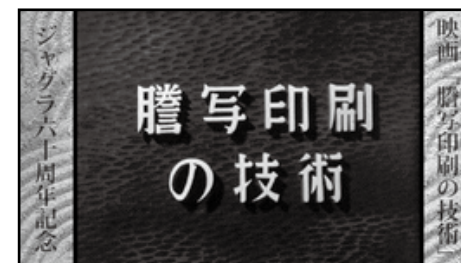
カテゴリ セミナー 経営者向け



【JNアーカイブス】
第49回ジャグラ文化典鹿児島大会
(2007)



カテゴリ ニュース JNアーカイブス



【特選】
映画「鑑写印刷の技術」
(昭和34年製作)
ジャグラ60周年記念特別公開



カテゴリ ニュース ジャグラ情報



業界の大先輩が語る
「ジャグラの魅力」
～筋金入りのジャグリストからのエール～



カテゴリ ニュース ジャグラ情報



印刷業界健康セミナー
「歩き方と座り姿勢」
～営業さんオペレータさん必見!!～



カテゴリ セミナー オペレータ向け



知っておきたい特殊印刷/加工
「スクリーン印刷」



カテゴリ セミナー 営業向け



ビジネスライフに活かす色彩力
「色で伝える」
～心理的効果とテクニック



カテゴリ セミナー オペレータ向け



SHOWA

ユーザーサポート こそ商品

株式会社ショーワは、謄写版および付属品の販売と謄写印刷業の＜昭和謄写堂＞として、昭和3年に幅弓之助が創業しました。
創業者の幅弓之助は「良いものを売り、売ったものには責任を持つ事」に頑固なまでにこだわり続け、そのこだわりは創業から100年に向けて今なおショーワの社員一人一人にDNAとして脈々と受け継がれています。

長きに渡り、多くの取引先企業様より厚い信頼を寄せて頂けるのも、企業理念にもあります様にユーザーサポートという目に見えない、形のない「商品」だからこそ、付加価値を創造し続け、溢れる情報、市場状況を正確に分析・判断しうる知識とユーザーサイドで常に物事を考える「誠意」が評価して頂けているものと考えています。

今後も常に「ユーザーサポートこそ商品」の企業理念、創業者・幅弓之助の熱い志を胸に社員一同業務につとめていく所存です。

21世紀のグラフィックアーツを共に考えるショーワユーザー会

コラボレーション & リサーチ

SHOWA会

ユーザー会で密に情報交換

年間活動
○研修会 ○工場見学 ○総会・幹事会
○会報・メールマガジンの発行 ○有志グループ活動

問い合わせ、入会お申込みは事務局まで
SHOWA会事務局 TEL.03-3263-6141 FAX.03-3263-6149



株式会社

ショーワ

プリントメディアの総合商社

<http://www.showa-corp.jp/>

〒101-0065 東京都千代田区西神田2丁目7番8号 TEL 03-3263-6141 (代) FAX 03-3263-6149

Horizon Change the focus

ICE Series 誕生

Connected をキーワードに製本工程の自動化を実現します。

iCE Series は、お客様へさらなる高付加価値を提供することを目指した次世代型商品群です。

ユーザーフレンドリーなインターフェースで作業性を向上させ、安定した生産性と自動化を高次元で追求しています。

さらに、ワークフローシステム「iCE LiNK」との連携により、先進的な作業環境を構築できます。

生産性と折り品質が向上

ICE FOLDER 紙折機 AFV-566FKT / AFV-564FKT

ナイフ折り時の最適な給紙間隔をリアルタイムに計測演算し、最高の処理速度を引き出すなど、ナイフストッパーの脱着作業を含めた様々な設定を自動化し、幅広いアプリケーションに迅速に対応します。



作業効率と製本品質が向上

ICE BINDER 無線綴じ機 BQ-500

セット替えの高速化により、小ロットや1冊ずつ厚さが異なるバリアブル製本時にも高い生産性を実現します。また、ホリゾン独自のデリバリー機構により、厚い自身のPUR製本においても背にゆがみのない高精度な仕上がりを実現します。



高生産性と自動化を追求

ICE TRIMMER 三方断裁機 HT-300

一枚の断裁刃で天地、小口の三辺を断裁します。断裁前と断裁後の寸法をタッチパネルに入力することで設定が完了し、最高300サイクル/時で高生産性を実現します。冊子厚さの自動測定や、断裁角度の微調整など、自動調整機能により、精度の高い仕上がりを実現します。



ホリゾン・ジャパン株式会社 www.horizon.co.jp

本社 〒101-0031 東京都千代田区東神田2-4-5 東神田堀商ビル5F TEL.03-3863-5361 (代) FAX.03-3863-5360

東京支社 〒132-8562 東京都江戸川区松江5丁目10-9 TEL.03-3652-7631 (代) FAX.03-3652-8083

京都支社 〒601-8206 京都府京都市南区久世大藪町510 TEL.075-933-3060 (代) FAX.075-933-4025

福岡営業所 〒813-0034 福岡県福岡市東区多の津4-12-17 TEL.092-626-8111 (代) FAX.092-626-8112

リアル+オンライン
公開講座

自費出版アドバイザー認定試験 受験資格該当研修会
第36回自費出版アドバイザー講座

自費出版を電子出版する方法 デジタルハイブリッド出版の可能性

■ 講 師 長谷川智信氏 (一般社団法人 電子出版制作・流通協議会)

コロナ禍の中、電子出版が再び注目されています。そこで、日本の電子出版の最前線で活躍している講師に、電子出版の現況、自費出版物を電子出版の流通に乗せる方法、ハイブリッドデジタル出版（オフセット+デジタルショートラン+電子出版+POD出版）の可能性などを、実践的な内容でお話していただきます。
今後電子出版を行いたい方や、電子出版で悩みを抱えている方に最適の講座です。

■ 日 時 2021年11月17日(水) 15時00分～16時40分

■ 場 所 ジャグラ本部 会議室

東京都中央区日本橋小伝馬町7-16
ニッケイビル8階

東京メトロ日比谷線「小伝馬町」駅
4番出口より徒歩3分

■ 研修費 日本自費出版ネットワーク会員 2,000円
ジャグラ会員は 2,500円 その他一般の方は 3,000円

当日は、「YouTube ライブ」で限定生配信を予定しています。
会場に来られなくても質問はチャットで参加できます。
お申し込みいただいた方に、視聴先URLをメールでお知らせします。
また、11月30日(火)までアーカイブ動画を視聴できるので、
お気軽にお申し込みください。

■ 申込み NPO法人 日本自費出版ネットワーク事務局 電話 03-5623-5411
問合せ 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 ニッケイビル7F

お申し込みは日本自費出版ネットワークまでFAXまたはメールでお送りください。
FAX 03-5623-5473 メール pp@japan.email.ne.jp

氏 名			電 話	
社 名			F A X	
メー ル				
住 所				
所 属	☐ 日本自費出版ネットワーク会員	☐ ジャグラ会員	☐ その他	
参加方法	☐ 会場参加 ☐ 動画配信視聴	質問 したい事項		

多言語ユニバーサル情報発信ツール

MC Catalog+

エムシー カタログ プラス

Japan.
Endless
Discovery.

多言語に対応した デジタルブックを簡単に作成 手軽に配信・快適に閲覧

あらゆる紙媒体をデジタル化し、スマートフォンやタブレット端末に手軽に配信。
さまざまなシーンにおいて、時間・場所・言語にとらわれず、情報発信から閲覧環境
まで、ワンストップで最適な環境を提供いたします。

快適なユーザ体験をもたらす
多彩で豊富な機能を搭載

テキストウィンドウ
表示

自動音声合成
機能

SNS連携機能

ログ解析機能

配信エリア
指定

本文検索機能

高性能翻訳エンジン

JPSA モリサワ
Morisawa Japan Sports Association
モリサワは、日本障がい者スポーツ協会を応援しています

www.morisawa.co.jp

詳しくは エムシーカタログ

●記載されている会社名・商品名はそれぞれ各社の登録商標または商標です。●本仕様は、予告なく変更する場合があります。

基本性能を
追求した
Pro の最高峰。

RICOH
imagine. change.

多様化するニーズに対応し、ハイクオリティな印刷を続けられるタフな生産機。

生産性を高める高速出力、滑らかな高画質、高精度なレジストレーション、

幅広い用紙対応力など磨き上げた基本性能に加え、新技術 IQCT* for High-End による印刷品質の自動安定化と

印刷前の調整作業の省力化により、デジタル印刷ビジネスを強力にサポートします。

リコーの新たなフラッグシップモデル RICOH Pro C9200 シリーズの登場です。

RICOH Pro C9210/C9200

www.ricoh.co.jp/pp/pod/

*Inline Quality Control Technology ※写真はRICOH Pro C9210 にオプションを装着したものです。

プロ、体感。	RICOH Printing Innovation Center ショールームスペース	RICOH Proをはじめ、プロダクション プリンティング ビジネスの新たなソリューションをご覧ください。また DTP セミナーも定期的に開催中。 お問い合わせ：050-3534-2121 ※ご利用は予約制となっております。詳細につきましては、担当営業または販売会社までお問い合わせください。
CP	この広告は、リコーが提供する新しいクラウドサービスである RICOH Clickable Paper サービス*に対応しています。広告を撮影（クリック）すると、商品のスペシャルサイトなどインターネット上の関連情報をご覧ください。	株式会社リコー 〒143-8555 東京都大田区中馬込 1-3-6 リコージャパン株式会社 〒105-8503 東京都港区芝 3-8-2

※iPhone、iPadはApple Inc.の商標です。※iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。※AndroidはGoogle Inc.の商標です。

「シ」リ「ー」ズ

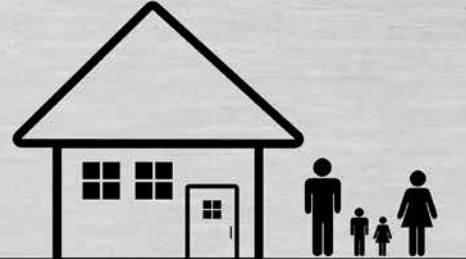
中小印刷業の

働き方改革を考える②

WORK



LIFE



経営技術研究委員会

福島・キング印刷(株)さんの事例

経営技術研究委員会*（向井一澄委員長）では、2020年から2021年度の2年間を活動の単位とし、企業を取り巻く働き方改革、コンプライアンス、SDGs、コロナ対応等のさまざまな経営環境の変化をテーマに、議論を重ねているところです。

なかでも、対応が急務とされる「働き方改革」について、先進的な取り組みをしているジャグラー会員企業へ取材を行い、「中小企業にも効果のある働き方改革」の事例を紹介することを委員会活動の軸としました。

取材は、アンケートシート記入による1次取材と、Zoomでのオンライン2次取材で実施することを基本とし、必要に応じて追加取材・現地取材を行います。取材結果は最終的に「報告書」として取りまとめ、会員の皆様に情報発信する予定です。

今月は委員会活動の進捗報告として、同委員会のメンバーでもある福島県支部のキング印刷(株)さんの取り組みをご紹介します。

※経営技術研究委員会

担当理事	宮崎 真	(株)ニシキプリント（広島）/ 副会長
委員長	向井 一澄	大更印刷(株)（岩手）/ 理事
副委員長	樋貝 浩久	(有)東和プリント社（山梨）/ 理事
委員	渡辺 辰美	(株)あいわプリント（北海道）/ 理事
	熊谷 晴樹	創文印刷出版(株)（宮城）/ 理事
	伊東 邦彦	キング印刷(株)（福島）
	稲本 創	(株)いなもと印刷（茨城）
	竹内 正敏	(有)富士タイプ製本所（愛知）
	安達 睦男	(有)舞鶴孔版（大分）
事務局	阿部奈津子	

PROFILE

●取材企業のプロフィール

会社名 キング印刷(株)
創業 1957年
代表者 伊東 邦彦
所在地 福島県福島市
年商 4億5000万円
従業員 52名（役員含む）
企業理念 笑う 夢を追う
経営理念 誠意と成長



- ・私たちとお客様の幸せを実現するためには共に成長することを目指す
- ・成長するためには自己を研鑽しお客様を知り最善の道を模索する
- ・最善の道を歩むためには知恵を絞り心身を鍛え軌轢を乗り越える
- ・正義と知性に則った行動こそが困難を乗り越え自己を変える
- ・変化し成長する自分に誇りを持つ

- 経営方針
- ・すべてはお客様のために
 - ・ひとりで仕事はできない
 - ・法を守り社会に貢献する
 - ・利益を追求する

同社 HP <http://www.king-p.co.jp/>

キング印刷株式会社

〒960-1104 福島県福島市下馬路字新田6-1 TEL:0241-544-2121 FAX:0241-544-2255

HP: <http://www.king-p.co.jp/> 企業情報 製品及びサービス 環境及び活動

To be more creative.

NEWS INFORMATION

2021.09.30 | 16日のカレンダーを印刷いたします

2021.08.30 | 9月のカレンダーを印刷いたします

2021.08.03 | 夏季休業のお知らせ

環境対応印刷宣言

キング印刷株式会社では、私たち自らの環境保全の活動のみならず、お客様の活動をお手伝いするために、いま考えられる範囲の印刷物をお届けいたします

STEP-1

アンケートシート記入による 1 次調査

Q 1. 働き方改革に取り組む狙いは何ですか？

1990 年より受注したコンビニ系年賀状印刷を約 25 年継続しましたが、業務量拡大とその後のデフレ圧力により、採算性が失われるとともに財務圧迫となりました。この間、技術的な発展性が失われ、社員の目的意識も固定化したことも相まって、働き方改革と正反対の事象が頻発しました。この状況が会社の将来性を失わせ、働き方改革を阻害すると感じたので、主体事業であった年賀状印刷を 2014 年に停止し、会社の適正化に舵を切りました。

Q 2. 働き方改革に取り組み始めた時期は？

2014 年に年賀状印刷を捨て、従来の商業印刷に関する設備の再整備を計画し、生産性向上のための計画を開始しました。

Q 3. その当時の時代認識、自社の状況認識は？

縮小する印刷需要のなかで、低価格化とより一層厳しい品質が求められていった時期だと思います。不況（含む東日本大震災の影響）も重なり、売上げ下落が著しい時期で、印刷会社の経営方針が問われることとなりました。

社員においては、本来、労働生産性の向上によってもたらすべき収入向上を、固定化した業務の過剰労働に求めるように思考が偏っていきました。つまり、過剰な残業を自ら望む考えに変わっていきました。残念ながら労働生産性の向上なしでの過剰な残業は、単位時間当たりの生産性を下降させ、会社としての採算性をさらに悪化させることになりました。「働かなくとも長く会社に居ればいい」という意識は、収支や財務を破壊するばかりでなく、「変化を求めない」という成長意欲を奪うことになりました。

Q 4. 働き方改革の着手を決断した際の心境は？

働き方改革が実現ができないと会社の将来性は皆無であり、近い将来に倒産するものと感じていました。経営理念と経営計画を自ら立案することをせず、状況に流されるまま会社経営をしてきたことを反省しました。いろいろな問題を目の当たりにし、悩み、思考しているつもりでありながら、実は何も行動していなかった、何も決断していなかった自分の無能ぶりを実感することとなりました。

Q 5. 働き方改革にどのような手順で着手しましたか？

- ①経営理念の宣言
- ②経営方針、目標の策定
- ③事業・業務の洗い直しと取捨選択
- ④財務の立て直しと、生産性向上に係る設備投資
- ⑤（新卒を含む）社員の採用と評価制度の採用
- ⑥（環境対応を中心として）SDGs 項目の実践
- ⑦社員教育と組織の改編、社用規則の見直し

【具体例：過重労働の排除の場合】

残業の申請化 → 勤務状況の把握と分析 → 個別指導と対策
→ 社会保険労務士からの直接指導 → 大量離職 → 採用活動
→ 勤務状況の見える化 → 労働生産性の数値化 → 評価制度の導入。

Q 6. 政府が推進する次の働き方改革のうち、御社の取り組み状況は？

①非正規雇用の待遇差改善→試みたが失敗

- 非正規雇用社員は能動的な変化を求めています。
- ※派遣社員は採用（利用）していません。
- ※若干のパート社員を採用していますが、採用時に勤務に關する希望を聞き、全日勤務ではない勤務体制をとります。また常時都合を加味しながら週 3 ～ 4 日レベルでのシフトを組んで勤務させます。
- ※コロナ禍での休業体制でも、パートに対して 100% の休業手当を支給しました。
- ※パート従事者の時給単価の引き上げを行い、助成金を取得しました。
- ※現在、非正規雇用・パート従事者は、正社員への転換を希望していません。

②長時間労働の是正→対応

徹底した運動で一時は残業ゼロにまでなりましたが、新たな問題が発生し、少し残業が発生しています。コロナ前は 14 時間× 1 名／月 コロナ禍では 10 分× 1 名／月。

③柔軟な働き方ができる環境づくり→取組中

- 新たな勤務の在り方についていろいろと試みていますが、社員が対応する準備ができていません。
- ※配置転換の申請を受け付けています。
- ※部署を跨いだ職務内容の新しい職種の創造を支援しています。
- ※積極的な有給取得（コロナ禍では休業）を推進しています。
- ※休業補償は 100% 支給です。
- ※リモートワークを実践しています。（コロナ禍によるものではなく、従業員の事情に対応してのものです。）

④ダイバーシティの推進→部分的に対応

高齢者の採用、女性の新卒営業、女性の印刷オペレータなどを採用しました。言葉を扱う仕事なので外国人の採用には至っていません。

⑤賃金引き上げと労働生産性向上→取組中

- 年齢・性別・社歴に拘らず昇降給（年 4 回）に繋がる評価制度を採用。全体としてはまだ社員が追いついていません。
- ※自己で目標を立て、実践して評価するという評価制度をとっており、年に 4 回の給与改定の機会があります。
- ※給与の改定・決定は、評価者による会議で行われ、被評価者との面接を通じて次の目標を立案します。
- ※作業日報の集計と分析を行いながら、労働生産性を数値化し、フィードバックしています。

⑥再就職支援と人材育成→取組中

- 取り組みながらも成果が出ていません。
- ※定年退職後の再雇用を行っています。最高齢は 80 歳。
- ※特定能力を持つ退年退職者の新規採用を行いました。
- ※特定の資格取得に関して、全面支援をしています。
- ※業務内に学習会の予定が組み込まれ、特定の部署では毎日行われています。

⑦ハラスメント防止対策→取組中

社内でのハラスメント事案が発生しておらず、具体的な事例がありません。

Q 7. Q6 で「対応」と回答した項目について、具体的な取組み内容は？

①非正規雇用の待遇差改善→試みたが失敗

◎アルバイト・パート社員に試験制度を設け、合格した者を正社員へ登用することにしました。

②長時間労働の是正→対応

◎長時間労働の対象となっていた特定の仕事を断りました。

◎残業は全て申請制であり、業務予定の計画を事前に行い業務の分散や他部署からの支援体制をとります。

◎業務内容の日報集計を行い、分析の後生産性を上げるための対策を作っていきます。

◎退社定時になると、業務終了・退社の声掛けをしています。

◎原則、深夜残業の申請は却下しています。必要性が生じた場合は、時差出勤や代休の取得を促します。

◎業務分散を容易にするために、多能工化、マルチオペレーションを推奨（各自の目標にさせる）しています。

◎勤務終了から実際に退社（退出）となる時刻を全て統計を取り、差異が大きい者への指導を行っています。

④ダイバーシティの推進→部分的に対応

◎他社を定年退職した人材を採用しました。

中小企業の働き方改革を考える②

◎印刷工場から VOC とパウダーを一掃し、女性の印刷オペレータを採用しました。

◎ 80 歳、女性の営業が勤務しています。

◎障害者の採用を行っていました。（現在は在籍していません）

Q 8. Q6 で「対応予定なし」の理由は？

⑦ハラスメント防止対策→取組中

今まで問題がなく、現状必要性も感じていないため。

Q 9. 働き方改革を行って感じるメリットは？

- ◎（全体として）仕事に対する意識の変化が現れ、収益性が向上しました。
- ◎ミス・ロスが減少傾向にあります。
- ◎（まだ一部ですが、）社員の意識の変化（良化）が見られます。

Q 10. 働き方改革を行って感じるデメリットは？

- ◎過重労働の削減は、実質、年収低下に繋がり、大量の離職者を生み出しました。
- ◎目標を立て、それを評価する制度は、変化を求めない社員にとっては厳しさとなり、離職者を生み出しました。
- ◎生産性向上を支える「コミュニケーション向上」の動きは、コミュニケーションをストレスに感じる社員の負担となっています。
- ◎離職の大量発生から、新規人材の採用が続いていますが、技術やモチベーション維持の教育がなかなか進みません。

Q 11. 働き方改革と SDGs や DX との関連をどう捉えていますか？

SDGs の考えが一般化する前より、同意識の実現について動いています。SDGs は単なる目標ではなく、近い将来にコンプライアンスとなると予想しており、乗り遅れることは経営危機に繋がります。SDGs を実践してみると、会社の利益や個人の幸せの実現と反するものではなく、同じベクトルにあるものであると考えています。

現状で働き方改革や SDGs の推進を阻害するものは、企業の意識の遅れではなく、働き手の意識の滞留によるものと言わざるを得ません。安定を無変化と誤解する社員の根絶こそが推進の原動力だと考えています。印刷業界が右肩上がりに伸びていた時期には当たり前であった「新しいことへのチャレンジ（変化）こそが利益の根源」という思想が、働き手にとってはいつの間にか「変化することは不安・恐怖」に変わってしまいました。

SDGs はそれを元に戻し、成長を意識させる思想だと思います。実際に弊社では SDGs をセールストークにすべく活動しています。SDGs は高品質化といって良いと思います。意識の高いクライアントにはストレートに伝わります。シュリンクする印刷市場で低価格化に対抗できるのは SDGs だと考えています。

DX についてはまだ懐疑的です。印刷の業界は DX の基礎となる分業化や平準化の要素はすでに持っています。DX の名でのデジタルの利用でこれを促進させるためには、また一つ大きな壁があります。それは、「印刷企業の秘密主義」「原価意識の低さ」「PR 下手」「コミュニケーション下手」「決済と代金回収の不得手」です。壁はまだ高いですが、DX が実現するときには業界、企業の再編が起こるものと予想します。乗り遅れないように自らが変化する体質を磨かねばならないと考えています。

Q 12. これから働き方改革に取り組む企業に、メッセージをお願いします

印刷会社は過去、皆ブラック企業でした。大量生産、大量消費の時代に生まれ、有り余る仕事量の元に長時間労働をしながら利益を出してきました。その間、大量の VOC や汚水を垂れ流し、そのほとんどがゴミになってしまうものを作り続けました。映画や歴史を振り返るたびに印刷工場とそのオペレータは過酷な労働の代表として取り上げられることも多かったはずで

す。バブルが崩壊し、人口が減少し、デジタルが広まる中で社会は変わり、これからも変化します。ところがこの変化についてゆけぬ我々印刷業は、愚痴ばかり先行する業界になり始めています。変化しなければ会社は終末を迎えます。今までどれだけの業種・業界が消えていったことでしょう。私たちはそれを知りながらまだ現状を守ろうとしてあがくのでしょうか。

働き方改革はその踏み絵です。改革ではなく必ずそれが法的拘束となり、愚痴では済まない日が来るはずで

す。だからこそ今やらねばならないことだと思います。私たちの業種は設備産業でした。新しい世界を金で^{あがな}贖ってきました。しかし今度の踏み絵は金では買えません。今やらねばならないことなのだと自覚しなければなりません。

印刷物は「綺麗」「安く」「早く」だけでは価値が語られなくなります。例えば「環境」「コンプライアンス」「ホワイト企業」「独創性」「安心」「ユニーク」——こうした要素をブランド化し、企業の価値に、製品の価値にしてい

く努力をしなければならぬ日が始まります。できることから始めましょう。我が業界が正しい企業として取り上げられることが業界全体の存続を意味するものだと考えます。

働き方改革とは、労働生産性の向上でありマーケットにあった自社の経営方針の決定であると、弊社は考えています。現在抱える問題は、こうした考え方と社員の意識、考え方が一致し

ないということです。改革という言葉で言われることですから、それは変化でなければならないはずで

す。ところが社員の深層の意識では、変化を望んでいません（あくまでも全体の傾向です）。働き方改革を進めなければ、変化を求める体質を作らねば、企業は衰退します。ここにギャップが生まれます。一例をあげれば、「残業は生活費の糧である」という意識の社員を「残業を排除し短時間で稼ぎ出す体質を作り、給与を上げる」という方向に変えていかねばなりません。果たして、この意識を生み出すことができるでしょうか。

働き方改革に取り組むのであれば、①社員の意識を変える②残業を排除し短時間の労働となるための体制、ルール作りをするのどちらかから開始しなければなりません。本来は同時に行うのが理想で、その体質が企業にあれば働き方改革は容易に進むのですが、残念ながら長い期間で培ってきた企業体質は一度に変化できないというのが実情です。

変化の要請は社員にとって大きなプレッシャーとなります。ともすると社員の意識は瓦解し、雇用は崩壊します。経営者は雇用の崩壊を恐れ、決定的な手段を躊躇するようになります。働き方改革が思うように進まない原因がここに

あります。変化を是とする社風、社是を作り出すこと。経営者の覚悟。働き方改革はここからスタートするものだと思います（うまく進まない改革に対する反省の意味を込めて）。

働き方改革を含むコンプライアンス等の企業課題全般の取り組みについて、成功例、失敗例、気づかなかった点などありますか？

企業課題の全般ついて、いかに無知でいい加減な会社だったのだろうと今になって自社を見えています。恐らく「これほどいい加減でも経営できていた業界はほかにないのでは？」と感じざるを得ません。社会の体制や経済が崩壊し、そこに改めて災害や災厄が重なっていく現在、明確な十字架として重く我が肩に食い込んでいるものと自覚しています。今まで行った試みは、実はチャレンジではなく、やらねばならなかった義務だと思っています。次の課題は企業体としての存続や事業承継に移っています。働き方改革も SDGs もこれから起こるであろう DX も、その義務を果たさなければ事業承継どころか、廃業や倒産の引き金になるものと思っています。「果たして我々は勝ち残れるでしょうか？」。そろそろ目の前の問題に取り掛かる一歩を踏み出さねばならないのだと、考えるようになりました。

STEP-2

Zoom 利用によるオンライン 2 次調査 委員による追加質問にお答えいただきました

●向井 皆さんこんにちは。私たち経営技術研究委員会は、働き方改革などの業務改善を行い、業績を上げている会社を紹介することで、ジャグラ会員がその一歩を踏み出す助けとなるよう活動しています。今回は委員会メンバーでもある福島のキング印刷・伊東社長にお話を伺います。まず自己紹介をどうぞ。



●伊東 福島県福島市のキング印刷、伊東です。父親の会社を引き継ぐ形で、自社に戻ったのが 1989 年。Mac DTP、Web 制作、映像・音声のデジタル編集など、どちらかという

追加質問

●向井 では事前に一次取材としてアンケートシートにご記入いただいております。それに対する追加質問が幾つかありますので、事務局の阿部さんから伺いさせていただきます。

●阿部 では早速ですが「Q6 政府が推進する働き方改革のうち、御社の取り組み状況は？」という設問の、「②長時間労働の是正」のところで、「一度残業ゼロになったけれど、新たな問題が発生した」との回答でしたが、これは具体的にはどういったことでしょうか？



●伊東 たくさんの人が辞め、その後、採用した人材が仕事に慣れるまで、作業効率がどうしても落ちるということです。加えて、仕事を差配する中間管理職が育って

程が組めなかった。そういうひずみが残業に繋がりました。ただし、残業といっ



ても月 10 時間を超えることはほぼありませんでした。現段階ではコロナのためにほぼゼロですが、以前は 1 人の残業時間が 1 か月 160 時間にもなった酷い時代もあったので、それは改革しようと決心

しました。●阿部 160 時間分の残業代をもらっていた方は、改革でだいぶ給料が下がってしまいますよね？●伊東 下がります。私より高い給料もらっている社員がいっぱいいて、改革によって年収下がりましたから、たくさんの社員が辞めました。

●阿部 同じく Q6 の設問で、「①非正規雇用の待遇差改善→試みたが失敗」と回答されていますが、「頑張れば上げてあげるよ」と提案したけれど、「それはいいです」っていう感じの社員が多かったってことですか？●伊東 基本的には非正規＝パートさん自身が、「配偶者特別控除の枠内でやりたい」っていう考えなので、ハナから正社員への昇格を望んでおりません。また、社員に対してはちゃんと評価制度を絡めますが、パートさんにはそれを絡めていないので、特定の目標づけをさせたりすること

もありません。パートさんには基本的な仕事をきちんとこなしてもらい、本筋のところは全部社員で固めたいと思っています。●阿部 同じく Q6 の設問で、「③柔軟な働き方ができる環境づくり」は、取り組み中だが対応する準備ができていないという回答でしたが、具体的にどんなことを試されましたか？

●伊東 出社 / 退社時間を自分で決められる「フレックスタイム」を提案したことがありますが、てんでダメですね。人間の悪いところがボロボロ出てしまっ

て規律が乱れてしまう。柔軟さってイコール自由度ですが、この自由を規律を持って自分で守れる社員がまだ多くないんです。例えば、遅れた社員が仲のいい社員に頼んで代返させたり、酷い話ですけどこれが現実です。真面目にやっている連中が「なんであいつらしいの？」って不満を感じるようになり、会社にとっても大きなマイナスなので、「ダメだ、もうそん

なのやらない」となりました。残業も同じです。何もしないで会社の中で遊んで夜遅くまでいて、タイムカード切る社員がボロボロ出てきたので、「これはダメだ」と申請制にしました。

●阿部 同じく Q6 の設問で、「④ダイバーシティ推進」の回答が、「高齢者の採用、女性の新卒営業、女性の印刷オペレータなどを採用した」とのことですが、女性オペレーターは定着されましたか？ また採用のきっかけは？●伊東 とても元気に働いていますよ。20 歳と 22 歳で、大卒の子なんか音大のピアノ科出身ですよ。男性より女性のほうが

真面目で全然いいです。

会社を作り変える決断をしたときから、「女性をきちんと活かしたい」という思いはありました。採用のきっかけですが、まず基本的に応募があったこと。会社としても、油性インキを止めて全部LEDのUV印刷機にしましたから、パウダーがありません。VOCがゼロで匂いがありません。こういう環境にしたので女性でも安心して仕事ができるんです。

●阿部 同じくQ6の設問、「⑥賃金引き上げと労働生産性向上」の回答について、「昇給だけではなく降給もあるのか？」と、評価の方法、判断基準などをお聞きしたいのですが？

●伊東 降給もありますが、きちんとした評価方法を示しています。会社の理念・方針に対して、具体的な目標を立ててもらいます。それを自己評価して、一次評価、二次評価と点数をつけます。これをベースにして給与を上げるか下げるか、査定会議が行われます。ですが点数だけではやっていません。点数以外のところで、いいところがあるのかまできちんと見て、それを年に4回繰り返します。これを4、5年続けており、やっと少しずつ動き始めた感じです。

平気で降給しますので、社員にとってはプレッシャーだと思います。ただ、上がる下がるのプレッシャーよりも、自分で目標を作るのが大変だと言っています。何をやっていいかわからないんですね。ここが大きな問題だと思っています。

●阿部 再雇用の話で、定年した方を採用した、80歳の女性営業の方が勤務しているという回答でしたが、詳しくお話しただけですか？

●伊東 定年採用は、私が前に勤めていた凸版印刷の子会社で役員まで務められた方で、執行役員として一本釣りで引っぱってきたので、一般的な再雇用とはちょっとイメージが違うかも知れませんが。

80歳の女性営業ですが、実は私のおばです。高齢になったので、定年に引っかからないように取締役にせざるを得なかったのですが、去年の11月、80歳になり、本人もそろそろ勘弁してと言っているので相談役にして非常勤を命令したんです。

が、いまだに出てきますね。バリバリの営業で、利益面ではほぼトップセールスでした。

●阿部 すごいですね。

●伊東 うちの会社の成り立ちですが、設立したのは私の母です。社長は父でしたが、何のことはない、父が経理で母が営業という面白い会社でした。母がやっていた営業を引き継いでくれたのが私のおば。今の営業本部長は私の妻。65年間、営業のトップがずっと女性です。つまり、女性に食わせてもらっている会社なんで、はっきり言って頭が上がらないんです(笑)。80歳の相談役が辞めなかった理由……、というか辞めさせられなかったんですが、お客さんから「あの人が辞めさせたらお宅に二度と仕事出さないからな？」って直接電話がありましてね。だから女性活用というより、「どうやったら男性はもっと強くなれるのか？」というのがうちのテーマですよ。

フリートーク

●向井 一通り追加質問が済みましたので、ここからはフリートークで進めます。最初にお聞きしたいのは、御社の経営理念、経営計画、経営目標についてです。変革を成し遂げようとする場合の指針となるものですから……。

●伊東 父母がやっていた会社に33、34年前に帰ってきた当時、企業理念や経営計画に当たるものなど全くなく、有り余る仕事をどうやってこなしていくか、必死にやっているだけの状況でした。冒頭に申しました通り、バブル崩壊、震災などで大きな痛手を被り、会社を再度立ち上げようと、企業理念や経営計画を明文化したのが2016年です。組織の運営計画、組織の意識改革といった視点で作ったつもりです。

●向井 それはお一人で作ったのですか？ 作り方とか苦労話があればお聞かせ願いたいのですが。

●伊東 全て私で作りました。誰にも相談してません。というか、相談する相手がいらないんですね。作り方ですが、基本的には「企業としてもっときちんとやっていこう！」という考えで

目標を立てます。次に、「この目標達成のためには何が足りないのか？」を考えます。「足りないものはどうすれば得られるのか」を考えて明文化し、それを皆で実行、検証、結果を見ていく。PDCAのサイクルと同じです。

重要なのはその考えを社員に浸透させることで、毎週1回、私が朝礼で喋る機会があるので、そこですっと同じこと言ってます。コロナで1、2年止まっていますが、経営方針の発表会では、その経営理念だけで3時間位喋りますよ——と、かっこよく聞こえるかもしれませんが、こんなに話しているのになかなか浸透しないんです。「うちの会社は皆で作っていくんだよ」という考えで、具体的な経営計画というよりSDGsみたいに「将来の方向性だけ示して、あとは皆で考えよう。具体的な策に落とし込むのは君たちだよ」と話していますが、なかなかやってくれないですよ、社員が。これが現実です。

●向井 経営理念が大切だとわかっているジャグラ会員は多いと思いますが、伊東社長みたいに実行できている会社は思ったより多くはない。恥ずかしながら当社も手付かずです。「改革に際しては経営理念が大事だよ」って言われるけど、何から始めたらいいかわからないので、面倒くさくなって動いていない状況ですね。ですから恥ずかしながら、根本的なところをお聞きした次第です。

●渡辺 このキングさんの理念に合わない社員もいると思うんですが、その点どうなんでしょう？

●伊東 皆に覚えろと言っているのは、企業理念の「笑う、夢を追う」だけです。「それはどういうことなのか、考えろ！」と。それと経営理念に「誠意と成長」とうたっていますが、この誠実さって、これからの会社にすごく大切だと思うんです。コンプライアンスにも通ずることでもありますし、コミュニケーションの質にも通じますので。

今の社員数は52名ですが、辞めた人間は70名におよびます。結果的にまた70名採っているわけですが、震災後から数えると100名くらい人が代わっている状況です。辞めさせるつもりは一切なく、長くて欲しいと思っていますが、辞めていく社員を引き止めるために会社の体制を変えることはしないと明言しています。

実は古い人間がかなり辞めたんですが、要するにこの理念に合わない人間にとっては、とても居づらい会社になってしまったかもしれません。新規採用に関しては、一次面接、二次面接、適性検査をやるんですが、一次面接は必ず私が行います。そこでうちの企業理念を応募者に語ります。「うちはこの会社です。それでもやれますか？」と語り続けた、この5、6年でした。その成果か、とても良い社員が増えた感じで、理念に合致する人間はのびのびと仕事している感じですね。

●渡辺 理念が新陳代謝を促したということですね。

●向井 では次に熊谷さん、どうぞ。

●熊谷 当社は私も含めて11名位の会社です。25、26名いた時代があり、その頃、経営理念を作り、毎年の方針や目標を設定しました。今も経営理念だけは額に入れて各部署に掲示し、毎日の朝礼で唱和しています。私としては、社長1人でどうこうというより、中堅幹部を育てようという考えでやっていますが、これがまた大変ですね。最近、私が疲れてきたところもあって、結構いい加減なところはあります。伊東さんくらいの所帯では、どのような対策をしているんでしょうか？

●伊東 今52名ですが、中堅幹部の育成、はっきり言ってできていません。これが会社の弱体化を招いていると思います。理由はわかってます。全部私がやりたがるんですよ。私が自分自身で全部見たいんです。現場主義という意味では悪いことではないんですけどね。うちって、製造の印刷課以外の社員は一つの部屋に全員居て、そのど真ん中に私が座り、左に常務、右に工場長が座って、この3人で「ああせえ、こうせえ」って大騒ぎして指示を出しています。この3人の他には、部長が1名、課長1名しかいません。あとはチーフ。そういう意味では、組織体の構築ができないから、中間層が育たないのかなとも反省しています。会社を強くするための本当の組織論については、これから手掛けるといった感じですね。

●熊谷 人を育てるって「我慢」だなと思いますね。

●伊東 我慢ですね。辛いです、はっきり言って。

●向井 いわゆる人間と人間の関係。人間は不完全なものであり、間違いや誤解を犯しやすく、また、感情・欲望等、厄介なものを持ち合わせているので難しいですよ。では次、安達さん、どうぞ。

●安達 うちの5名の会社で理念も明文化していないので、考えなおさなきゃいけないなと思いました。一つお聞きしますが、社内の伝達はどのように行っていますか？ 朝礼とかミーティングとか、全社もしくは部署ごとでやっているのか？ 会社によってはメールだけでやり取りするところもあるでしょうから……。

●伊東 先程言いましたように、印刷部門以外の社員は一つの部屋にいますので、口頭が多いです。毎朝の朝礼で、「今日の仕事は何、どんな問題がある？」っていうことを全員で確認し、情報共有しています。

日々の業務連絡については直接顔を合わせて物事を伝えて、ものを渡して、っていうケースが多いですね。そのために皆、



東グラ共済会「遺伝子検査サービス」人生100年時代を安心して過ごすためにお役立てください

東グラ共済会が提供する遺伝子検査はジェノプランジャパン(株)が提供するサービスを利用するもの。一般価格3万2780円のところ大幅割引の1万9800円(税込、送料別)で利用可能です。最適な保険の選択、最適な食事の把握、最適な運動の推進など、人生100年時代を安心して過ごすためにお役立てください。詳細はコチラで <https://www.tokyographics.or.jp/news/5212/>

- 特長
- ① 検査キットを下記より購入し、唾液を入れて返送するだけ
 - ② がんや一般疾患体質に係る500項目を解析します
 - ③ 国内最速の10営業日で結果がわかります
 - ④ 分析結果は冊子(PDF)・ウェブサイト・アプリで閲覧できます

●申し込み&問い合わせ

東グラ事務局・担当：鈴木(電話 03-3667-3771)
「ジャグラ会員」である旨を最初にお伝えください



東グラファイナンスサービス工業会共済会

『遺伝子検査』で健康リスクを
見える化し未病対策を始めませんか？

健康と生活の
未来を
Genoplanの
遺伝子解析サービス

- 検査キットに唾液を入れて返送するだけ！
- 世界最多(がん、一般疾患、体質に係る)500項目を解析！
- 検査所要時間は国内最速の10営業日！

メーカー希望小売価格 299,800円(税込32,780円)のところ
18,000円(税込19,800円)※送料別。
※郵送にてお申し込みとなります。※お申し込みは2024年10月31日まで

共済会よりご購入いただけます！

<返送用封筒>

Return Bag

<唾液採取キット>

唾液採取キット

<お検査>

随分社内を走り回っているイメージです。どちらかと言えば、うちの人間はメールとか電話を避けている感じですが、きちんとした数字とか、より詳細な指示が必要な場合は、かたちに残るようメールを使いなさいと言っています。ですが、「君が喋ることがコミュニケーションではなくて、相手にどう伝わったかを確認するまでがコミュニケーションだよ」と日頃から言っているからか、メールより顔を合わせての伝達が多い感じです。

朝礼の他には中間管理職・所属長を集めての会議を2週間に1回行っています。各部署からの報告や伝達、質問等々、大体1時間半くらい。それ以外は各テーマ——品質管理でやったり、個人情報であったり、生産管理の品質保証だとか、いろいろな会議をかなりの頻度でやっています。営業はプープ不満言っています。「外に出れねえじゃねえか」って。

●安達 5S というか掃除や整理整頓はどうしてますか？

●伊東 5S については結構自信があります。会社作り変えようとしたときに5S をスタートしまして、この推進役を社員に任せました。5S 委員会を作って社内を巡回したり、「ああしよう、こうしよう」と進めてくれました。また、そのときに印刷機を全部LED-UV にし、油性インキを一切使わなくなったので、パウダーも匂いもなくなりました。機械が汚れなくなりましたので、そうするとちょっとの汚れが気になるようになり、一層、清掃や整理整頓に励むようになりました。ここ数年、工場見学に訪れていただいた同業者は400社ぐらいになると思います。アンケートで「これが良かった」と書いていただくのは全

部5S に関してでした。「整理整頓ができてるね、だから印刷物も綺麗なんだ」と、エンドユーザーからも誉められました。●向井 掃除は大事ですね。仕事にもそれがすごく影響します。社員の意識向上、事故防止、物事に対する気づきも養うことができます。ただし就業規則の時間内でやらなきゃいけない。時間外だと今はもうバツですから。では次、竹内さん。

●竹内 お話聞いて感心するばかりです。うちはパートや正社員、役員も含めて9人なんです。理念もないですし、朝礼も基本やってない状態で、ただただ会社を潰さないために、日々仕事をしている集団って感じです。父がまだ社長やってますが、自分の代になったら「何をしたいのか？ どういう会社を持っていきたいのか」と、お話を聞きながら漠然と考えていました。たくさんヒントを頂戴し、感謝しています。

●向井 正直な感想だと思います。私のところも同じような状況なので、一緒に頑張りましょう！ 読者の会員企業におかれましても、企業理念や経営方針を明文化していない場合は、これを機に自分の会社の将来を見つめなおしてみたらいかがでしょうか？ それが結果的に働き方改革に繋がると思います。本日はどうもありがとうございました。

●全員 ありがとうございます。

(実施日7月16日)



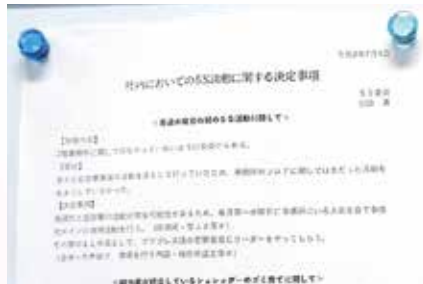
同社社屋周辺とエントランス周り



照明はLED オフセット印刷機はすべてLED-UV 機 工場全体が無臭・ノンパウダー オゾンが発生しないのでダクトもない



整理整頓を徹底して心掛けている社内



5S 活動を徹底している

安全衛生は全ての企業活動に優先する

「コンプライアンス セルフチェックシート」をご活用ください！

経営技術研究委員会が作成／ジャグラHPよりダウンロードできます

ジャグラ経営技術研究委員会（委員長：向井一澄理事）は、このほど、ジャグラ会員向けに中小印刷業が守るべき法令をリスト化し自社の対応状況をチェックできる「コンプライアンスセルフチェックシート」を作成、データ配布を開始しました。

×

このチェックシートはExcel 形式となっており、労働基準法関連の法令をはじめ、経営、環境、個人情報保護等153個におよぶコンプライアンス項目をリスト化し、各項目への自社対応状況を「対応済・対応中・対応できていない・対応不要」の中からプルダウンで選択すると自動的に対応済件数がカウントされるようになっています。

シート作成のリーダーを務めた同委員会メンバーの渡辺辰美理事は、「対応済みの項目が多ければえらいというわけではありません。数は少なくとも、自社なりの働き方を充実させていることが肝心です」とコメントしています。

法令遵守と働き方改革セルフチェックシート			
コンプライアンス(法令遵守)はどのようなものがあるのか、一覧して、チェックシートにまとめました。既に実施しているかどうか件数が出ますが、単にカウントしているだけでは、数は少なくとも自社なりの働き方を充実させることが肝心です。		※は必要なのは罰金あり	
説明は省略、用語も簡素にしました。疑問点はこのシートの用語でネット検索してください。		※は必要なのは罰金あり	
また、厚労省委託の社労士無料相談も利用できます。		※は必要なのは罰金あり	
※9人以下の従業員では就業規則の義務はありませんが、三六協定や最賃など同じく適用されます。退職後の訴訟も多くなっていますので、規定はきちんとしておく必要があります。		※は必要なのは罰金あり	
法令遵守		週40時間稼働遵守	※◇
コンプライアンスは企業の土台		有給休暇5日消化実施	※◇2019/4一人につき30万円以下
		定時退社奨励	
		連続休暇奨励	
		有給休暇管理簿作成と公開	※3年保存
		就業規則届出	※◇30万円以下
		36協定届出	※2020/4
		残業上限時間(月45時間年360時間)遵守	※◇30万円以下2020/4
		残業上乗率制遵守	※◇30万円以下2020/4
		(年720時間稼働月平均80時間月100時間)	※◇30万円以下2020/4
		残業管理規定(申告制など)	
		月60時間以上の残業割増賃金遵守	※◇30万円以下2023/4
		変形労働時間制の採用	

「コンプライアンスセルフチェックシート」は、ジャグラ Web サイト「データダウンロード」の「ジャグラ会員向け各種データ」コーナーよりダウンロードが可能ですので、ぜひご活用ください。(TOP ページ>左カラムのデータダウンロード>ジャグラ会員向け各種データ)

<https://www.jagra.or.jp/download/>



オフセットとPOD 担当のIさん(入社5年目)



オフセット印刷オペレータを経て現在は製本加工担当のTさん(入社5年目)



現在は版洗浄以外はVOCを根絶している



顧客の信頼も厚い80歳の相談役



営業部門を取り仕切る伊東常務

業 界 の 動 き

日印産連

2021年度・日印産連表彰 ジャグラから岩下・岡澤・原田3氏が表彰されました

コロナ禍の影響により表彰式は11月29日に延期



岩下登 氏



岡澤誠 氏



原田大輔 氏

ジャグラなど印刷関連 10 団体で組織する（一社）日本印刷産業連合会（略称：日印産連）は、毎年 9 月を「印刷の月」と定め、記念式典を開催し、その席上、業界功労者の表彰を行っています。今年はジャグラより以下の 3 氏が表彰されました。

×

印刷功労賞 岩 下 登

（株）登プリント社 代表取締役社長（大阪）

平成 24 年より理事、副会長を歴任し、総務財政委員会、組織改革プロジェクト、経営委員会など各種委員会活動の中核として事業を普及推進した。平成 22 年には近畿地協会長として多岐にわたる組合運営に積極的に取り組み、地協、支部活動に大きく貢献した。グラフィックサービス業の振興と発展に寄与した功績は多大である。

【業界歴】

近畿地協会長 平成 22 年 10 月～平成 23 年 10 月
ジャグラ副会長 平成 24 年 6 月～平成 30 年 6 月
ジャグラ理事 平成 30 年 6 月～令和 2 年 6 月

お
知
ら
せ

記念式典は 11 月 29 日に延期となりました

日印産連主催の「9 月 印刷の月」記念式典を 9 月 15 日に予定していましたが、コロナ禍の影響により 11 月 29 日（月）午後 1 時 30 分からに変更となりました。会場はホテルニューオータニです。詳細はコチラ <https://www.jfpi.or.jp/topics/detail/id=5162>

印刷振興賞

岡 澤 誠

（有）中溝グラフィック 代表取締役社長（神奈川）

平成 26 年より理事、副会長を歴任。コンテスト事業としてジャグラ作品展、年賀状デザインコンテストの普及拡大を図る。また、平成 24 年から 9 年にわたり神奈川県支部長として地域活性化、組織拡大に大きく貢献した。

【業界歴】

神奈川県支部長 平成 24 年 7 月～令和 3 年 7 月
ジャグラ理事 平成 26 年 6 月～平成 30 年 6 月
ジャグラ副会長 平成 30 年 6 月～現在
関東地協会長 平成 30 年 9 月～令和 2 年 9 月

印刷振興賞

原 田 大 輔

（株）グッドクロス 代表取締役社長（東京・城南）

平成 24 年より理事を務める。インターネット放送「ジャグラ BB」を会員のインフラと位置づけ、委員長としてコンテンツの拡充、普及に努める。平成 26 年より現在まで東京・城南支部長、東京グラフィックス副会長を務め、地域活性化、組織拡大に尽力した。

【業界歴】

ジャグラ理事 平成 24 年 6 月～現在
東京・城南支部長 平成 26 年 6 月～現在
東京グラフィックス副会長 令和 2 年 6 月～現在

業 界 の 動 き

ジャグラ

JP2021・印刷 DX 展開催 ジャグラ高知の有志 3 社が出展 ジャグラ高知&大阪

8 月 26 ～ 27 日の 2 日間、「JP2021・印刷 DX 展」が大阪で開催され、ジャグラ高知有志（西村謄写堂・リーブル・三宮印刷）をはじめ、多くのジャグラ会員が出展しました。

×

コロナ禍で緊急事態宣言中の開催であったため、止むを得ずリーブルの坂本社長と三宮印刷の三宮専務は現地へ行くことを断念し、西村謄写堂の西村専務および社員スタッフ計 4 名で対応することになりました。来場者は前回より減少したものの、2 日間で 4000 人以上の来場があり、盛況だったとのことでした。

◎西村謄写堂 西村専務のコメント

大阪の人たちの日々のお付き合いがすごく生きていると思いました。私とお付き合いのある大阪の方々が、それぞれ知り合いを連れてきてくれたんですよ。連れて来てくれる人がとても面白い人で、その中には当社が出会いを望んでいた人もいて……。要は偶然出会って知り合った人もいるし、これまでの繋がりが生きて知り合った人もいる——展示会というのはそういうものなんだなとしみじみ思いました。坂本さんや三宮さんが不在だったという状況もあり、リーブルさんや三宮印刷さんの宣伝が十分にできず残念でした。

◎同社営業 田中みちさんのコメント

コロナ禍にもかかわらず沢山の方がブースに来てくださいました。会期のほとんどの時間、人が途切れない状態が続いていました。初めての経験で、さらに坂本さんと三宮さんがいない状況で、思うように出来なかった部分はありますが、得られたことも沢山ありました。展示会はマッチングという意味合いがありますね。一方的に仕事を頼むというよりもパートナーとして相互に助け合えるような関係になればと思います。

※「ジャグラ高知 JP2021 後日談」、ジャグラ BB で配信予定です



左) お揃いの T シャツで PR した西村謄写堂・小原さんと田中さん
右) ブース全景

短 信

◎三菱アルミ CTP 製品の価格改定について

ジャグラ賛助会員の三菱製紙(株)・ダイヤミック(株)より、「三菱アルミ CTP 製品の価格改定について」案内がありました。それによると、11 月 1 日（10 月 29 日 11：00 以降の注文）より、下記製品の価格が改定（値上げ）されます。

シルバーディジプレートαシリーズ	SDP- α VL	10%
シルバーディジプレートμシリーズ	VDP- μ	10%
サーマルグリーンプレート	TGP-S/ ε / ε U	10%
TGP 薬品	TGP-DV/TGP-DVR/TGP-GUM/TGP-MAB	
	TGP-SC/TGP-FS/TGP-CL/TGP-MV	15%

◎コニカミノルタよりトナー供給についてのご案内

同社オンデマンド機用トナーの生産工場での事故発生により、供給不安定な状況となっています、①一部カラー機用トナーが枯渇し出荷できない状態に至急代替対応をお願いします、②カラートナー出荷は 11 月 20 日頃、③代替カラートナーは 10 月下旬目途、④モノクロ機については出荷数量調整を行い供給継続、とのことでした。

詳しくは以下より第 2 報をご参照ください。

<https://www.jagra.or.jp/file/konica02.pdf>

計 報

□木下堯博 氏

8 月 27 日、ご逝去されました。享年 87。

元ジャグラプライバシーマーク審査会学識委員（東グラ時代の平成 17 年から、ジャグラは平成 19 年から令和元年度まで）の木下堯博氏が逝去されました。氏は、東グラ・ジャグラがプライバシーマーク審査の審査機関になろうとする時期より東グラ・ジャグラの個人情報保護の推進・プライバシーマークの普及に尽力されました。平成 27 年にジャグラ特別功労賞を受賞しています。

【主な略歴】 九州産業大学名誉教授・工学博士（東京大学）、国際印刷大学校長、元・印刷教育研究会会長、平成 17 年度より令和元年度まで プライバシーマーク審査会学識委員

□成田宜憲 氏（神奈川）

9 月 8 日、ご逝去されました。享年 80。

氏は、神奈川県支部長・ジャグラ理事を歴任され、神奈川県支部の拡大と結束に功績を残しました。平成 20 年、ジャグラ業界功労賞を受賞しています。

【主な略歴】 神奈川県支部長、関東地協会長、ジャグラ理事

□高野吉次 氏

9 月 20 日、ご逝去されました。享年 88。

氏は、茨城県支部長・ジャグラ組織対策委員として活躍され、全国の組織拡大に功績を残したほか、茨城県支部長としても活躍されました。昭和 61 年、ジャグラ業界功労賞を受賞しています。

□色川大吉 氏

9 月 7 日、老衰のためご逝去されました。享年 96。

東京経済大学名誉教授、歴史家。日本近代史・民衆思想史が専門。氏は、ジャグラ主催の日本自費出版文化賞の創設から 20 年にわたり、同賞選考委員長を務めていただきました。

我が社の自費出版事情

第10回：中央印刷(株) (山形県山形市)

<https://chuo-printing.co.jp>

同社・代表取締役社長 後藤卓也

プライベート出版という域を超え、昨今では社会問題など幅広いカテゴリーをカバーしている「自費出版物」。「自費出版」の様々な取り組みを紹介するシリーズの第10回目は、山形の中央印刷(株)さんにご寄稿いただきました。

×

厚生労働大臣賞2回受賞の伝統と自費出版

弊社は1955年に故・後藤義樹が創立した「後藤タイプ印刷所」をはじめ、零細企業3社との合併により1968年に設立されました。共同経営者の一人が戦後レッドパージにより教職を追われた元先生だった事もあり、設立当初から学校関係の印刷物が多く、自費出版の顧客も退職教職員が多いのが特徴です。売上比率については、書籍・学校関係印刷物・官公庁報告書等、いわゆる「ページもの」が約50%を占めています。書籍については、より高度なものを目指して日々励んでおり、長年にわたるノウハウ蓄積の成果もあって、ジャグラ作品展において1977年と2003年の2度、厚生労働大臣賞(1977年は労働大臣賞)を受賞しました。その他にも厚生労働省職業能力開発局長賞・中小企業団体中央会会長賞等、多数受賞しております。



2003年の厚労大臣賞表彰状

出版社「阿古耶書房」の設立と書籍販売

2001年に自費出版していただいたお客様の書籍を販売するために出版社「阿古耶書房」を設立し、書籍販売にも力をいれております。「阿古耶」とは山形市内にある千歳山にまつわる悲恋物語の主人公のお姫様です。山形市民であれば誰でも知っているのが「阿古耶姫伝説」であり、阿古耶姫開祖寺院の歴史物語を作った時にご住職と相談し、「山形の文化的な書物を作って売る出版社が山形にも必要だ」という事で盛り上がり、そのご住職に出版社代表になっ



阿古耶書房のHP
<https://chuo-printing.co.jp/akoya/>

てもらい始めたものです。

最初は単にお客様から依頼を受けた自費出版本を売るだけでしたが、やがて独自に企画出版を行うようになり、山形市在住の直木賞作家・高橋義夫先生が地元山形新聞に連載した『やまがたキャバレー時代』を単行本化して販売しました。その時、ご住職からは「阿古耶書房からキャバレーかよ」と言われましたが、内容が面白いので、許可いただき初版1000部をほぼ完売しました。また、山形県が生んだ直木賞作家で脚本家としても著名な井上ひさしの父親・井上修吉の作品集『H丸伝奇』を没後七十数年後に編集して発売、朝日新聞全国版で紹介された事もあって評判となり、版を重ねました。

「阿古耶書房」は中央印刷にリンクしたのですが、独立したホームページを持っております。そして、ネットで注文いただいた書籍は翌営業日に請求書とともに発送しております。品物と郵便振り込み票を先に送って、後に同封した郵便振り込み票で代金を振り込んでいただくやり方で、集金が大丈夫か不安もあり、中には数回支払いの催促をしても送金いただけなかった事が1件だけありましたが、回収率は99%であり、ほとんど送金していただいております。

当社の作成書籍の特徴

自費出版のお客様には退職教職員が多いと前述しましたが、数人の元先生が山形市や近郊市町村が主催する「自分史講座」の指導者をしています。その先生方の自費出版はもとより、自分史講座の生徒さんをご紹介いただく事もあり、中には先祖代々の記録・幼少から青年期・壮年期・現在・家族と親類を入れた全体の歴史の合計5冊の自伝を出版した方もいらっしゃいます。

「自分史講座」の書き手の大きな特徴としては、1冊目は勇気があるからか長い時間をかけますが、それ以降は度胸もついて続けて何冊も出す方が結構いらっしゃいます。競争して出し合い、献呈し合うといった光景も見られます。

戦争を語り継ごう

もうひとつ当社の自費出版物について内容的な事に触れると、「戦争体験記」を出版した方が多いという事です。最も長く続いているのは、『戦争と暮らしを語り継ぐ』という手記で、平成初期に1冊目を出し、すでに31冊を超え、この活動は地元新聞やテレビで毎年8月終戦の日前後に大きく取り上げられ、毎年ほぼ完売状態になっています。そもそもこの手記が発行されるきっかけは、戦争未亡人の経験談を発表する場が必要と、元山形市立図書館長を中心として数人の方が始めたのが最初で、戦争未亡人の方々が亡くなった後も、娘さん、お孫さんへと引き継がれて今に至っています。また、今年になって『戦争を語り継ごう』全5冊が刊行されました。中心になっているのは今年89歳になる元中学校の先生で、何十年と地元文芸誌を編集し続けていた方です。その文芸誌から戦争体験だけを集めた集大成として編集・刊行したもので、先生は「戦争を知らない世代に対する遺言集」とおっしゃっていました。戦争体験談ならではの生々しく凄い内容で、読んでいて体が震える思いがしました。



手掛けた出版物の数々

さまざまな自費出版体験

自費出版の営業をしているといろいろな経験をします。ある会社から会長さんの自伝を作りたいと連絡がありました。会長さんは97歳の高齢でしたが元気一杯で、「これから自伝を口述するので、録音して纏めてくれないか」との事で、通う事二十数回、朝にいきなり「11時に来てくれ」と一方的に電話が来るなど、こちらの都合はお構いなし。流石に入札の時は断りを入れましたが、他の予定を変更する事も数度ありました。録音をテープ起こしして編集し、ようやく校了という所で、もう少し話したい事があるとストップがかかりました。その時予感があったのか、20部だけ親族向けに印刷製本してくれと依頼があり、オンデマンド印刷・製本して納品。その後、1回インタビューをした直後に急逝されました。長男の社長さんと相談し、同業他社から意地悪をされた記述や山形の裏話は全部カットし、オフセット印刷して納本しました。カットした個所の方が内容的には面白く、本を出す事の難しさを感じました。

また、今年88歳の元県職員の女性から自費出版の話があり、何度かの訪問時に、「カバー・表紙については、友人が細かな紙を色紙に貼り付ける切り絵を作っているの、その人にデザインを頼むつもりだ」と話していました。ちょうど弊社で残紙をネット販売する事業を始めたときでしたので、数十種類の残紙をお持ちして、表紙のデザインを制作していただきました。これがかかなり好評で、デザインしたその人からも喜んでいただき、絵画を含めた作品集を自費出版したいとの依頼に結び付けました。

本を作るために生まれてきた

昨年、ジャグラ機関誌に連載した記事を纏めた『温孔知新』を自費出版しました。その過程で、本を自費出版するお客様の立場に立ち、逆の立場から本作りを体感しました。印刷現場に対するひどい要望もしました。本が出来上がる



手記『戦争と暮らしを語り継ぐ』の出版は30冊を超えている

予定の日に、あまりに待ち遠しくて製本所に行った時、背文字がずれていて製品にならないと言われた予備数冊を「自分が読む本だから」と貰ってきたりしました。出来上がるまでのワクワク感は自費出版を経験した人でないとかからないのではないかと思います。そして、本が出来上がってからの反応、特にジャグラ会員の皆様からの温かい励ましの言葉やお便りがとても嬉しかったです。今までに経験しなかったさまざまな経験をしました。これは今後の本作りに生かす事ができたらと思っています。

自費出版は一生に一度というケースが多いので、その筆

者の熱意が強く伝わってきます。若い時にはあまり感じなかったのですが、50歳を過ぎてから「自分は本を作るために生まれてきた」と思うようになってきました。最近になって家を改築するのをきっかけに終活を意識し始め、7000冊もの蔵書の処分を考え、友人に譲ったり、古本屋に売ったり処分し始めていますが、会社で作った自費出版本は処分できません。「山形謄写印刷資料館」への寄贈本・品々ももちろんです。本には筆者や制作に携わった多くの人々の魂が宿っています。特に自費出版本は書き手の一生や思いが1冊の本に凝縮されているのですから。

印刷残紙を廃棄せずネット販売！

「残紙を自由に使って=ざんしじゆうに= 3'412」
<https://zanshi12.thebase.in/>

中央印刷さんは、このほど、製造工程で発生する残紙を有効活用しようと、異なる色や大きさの残紙を詰め合わせセットにして販売するオンラインショップを立ち上げました。「残紙を自由に使って欲しい」との思いからショップ名を3'412（ざんしじゆうに）と名付け、ハガキやメモ帳から「紙の福袋」や子供向けの「工作セット」まで、バリエーション豊富な品揃え！年間1トン程発生する残紙を、以前は社内用のメモ用紙として使う以外ほとんど廃棄処分していました。一方で環境対応という観点から「もったいない、何かに活用できないか」という声もあり、女性社員5人によるチームで検討した結果、

ショップ開設に至ったとのことです。ショップのオープン日5月25日は、創業者であるお父様の誕生日とのことで、「新事業を立ち上げるにあたり、この日にこだわった」と後藤社長は話しています。同社のこの取組みは地元の新聞・TV・ラジオでも取り上げられ、話題となりました。

写真左より、オンラインショップ、地元紙「山形新聞」の記事



第24回日本自費出版文化賞 大賞作品決まる

大賞に埼玉県川越市・藤沼敏子さんの『あの戦争さえなかったら 62人の中国残留孤児たち』を812点の応募作から選出！

ジャグラ主催の第24回日本自費出版文化賞（NPO法人日本自費出版ネットワーク主管）の最終選考が9月8日に行われ、埼玉県川越市・藤沼敏子さんの『あの戦争さえなかったら 62人の中国残留孤児たち（上下）』を大賞に選出しました。

×

今回は全国から812点の応募があり、厳正な審査の結果、藤沼さんの作品を最高賞に選出しました。その他、部門賞7点、特別賞（協賛各社賞など）7点も選出されました。

恒例の式典・表彰式は、コロナ禍の影響により中止となりますが、記念となる「特別な冊子」を制作するとのことです。



また、同文化賞創設から20年にわたり選考委員長を務めていただいた歴史家・色川大吉氏が逝去されたことから、同ネットワークより「特別功労賞」が贈られました。ご生前のご厚情に深く感謝するとともに、故人のご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

詳細は本誌次号にてご紹介いたします。

事務局日誌と 今後の予定

最新情報はHPでご確認ください

9月の事務局日誌

- 1日 生産性向上委員会（Web会議）
- 2日 プライバシーマーク現地審査（千葉）
- 3日 プライバシーマーク現地審査（千葉）
- 6日 ジャグラ作品展第一次・第二次審査会（本部）
- 7日 プライバシーマーク審査会（本部）
- 8日 プライバシーマーク現地審査（神奈川）、ジャグラBB委員会（Web会議）、日本自費出版文化賞結果発表会（本部）
- 13日 ジャグラ作品展最終審査会（本部）、広報委員会（Web会議）、DXワーキンググループ（本部+Web会議）
- 14日 総務委員会、経営技術研究委員会（Web会議）
- 15日 プライバシーマーク現地審査（都内）
- 16日 プライバシーマーク現地審査（群馬）
- 21日 プライバシーマーク現地審査（埼玉）、マーケティング委員会（Web会議）
- 27日 生産性向上委員会（Web会議）、プライバシーマーク現地審査（山梨）
- 28日 プライバシーマーク現地審査（都内）
- 29日 経営技術研究委員会（Web会議）、プライバシーマーク現地審査（香川）、JIPDEC事故評価に関する勉強会（Web会議）

10月のスケジュール

- 5日 プライバシーマーク現地審査（愛媛）
- 7日 プライバシーマーク審査会（本部）
- 9日 SPACE-21全国協議会 鹿児島大会
- 11日 日印産連広報委員会（日印産連会議室）
- 12日 プライバシーマーク現地審査（都内）
- 13日 プライバシーマーク現地審査（秋田）
- 14日 プライバシーマーク現地審査（秋田）
- 15日 印刷物創注委員会（㈱クイックス本社／刈谷）
- 16日 関東地協千葉大会 総会・懇親会（京成ホテル ミラマーレ）→中止
- 19日 広報委員会（Web会議）
- 20日 ジャグラBB委員会（Web会議）
- 21日 プライバシーマーク現地審査（大阪府）
- 22日 拡大理事会（Web会議）
- 23日 自費出版表彰式（アルカディア市ヶ谷）→中止
- 29日 DXワーキンググループ（㈱正文舎／札幌）

11月のスケジュール

- 1日 マーケティング委員会（本部）
- 12日 総務委員会・全国協議会・役員推薦委員会（東京ドームホテル）
- 17日 DXワーキンググループ（Web会議）
- 18日 プライバシーマーク現地審査（都内）
- 29日 印刷の月記念式典（ホテルニューオータニ）→中村会長・清水副会長・沖専務

事・務・局・便・り

昨晚、フジテレビで「鬼滅の刃」を放送していました。劇場版（早っ）、秋からは最新作「遊郭編」が放送されます。もともと興味はなかったのですが、妻や子供たちが「とにかく面白いから見て！」と執拗に勧誘してきて、ハマってしまいました。徹夜でテレビシリーズを一気見し、その足で家族揃って映画館へ。コラボイベントがあれば足を運んでグッズを購入。実は10月9日開催のSPACE-21全国協議会鹿児島大会では、「鬼滅の刃」で使われた特徴的なフォントの作成者である昭和書体さんのお話が聞けるんです。非常に楽しみです。(T.I.)

※「事務局便り」は本部事務局職員が交替で執筆しています

月刊『グラフィックサービス』839号

■発行日 令和3年10月10日（毎月1回）
 ■発行人 中村 耀
 ■編集人 清水 隆司
 ■発行所 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会 略称ジャグラ
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16
 電話 03-3667-2271 ファクス 03-3661-9006
 ウェブ <https://www.jagra.or.jp/>



ジャグラは一般財団法人日本情報経済社会推進協会指定のプライバシーマーク指定審査機関です

■編集部 メール edit@jagra.or.jp

◎企画：ジャグラ広報委員会

委員長 清水 隆司 / 副会長

委員 中村 耀 / 会長

田中 秀樹 / 東京・城東

斎藤 成 / 東グラ専務理事

沖 敬三 / 専務理事

外部委員 藤尾 泰一 / (有)インフォ・ディー

事務局 阿部奈津子

守田 輝夫

◎原稿・編集・校正：ジャグラ事務局ほか

沖 敬三 田中 良平 並木 清乃

阿部奈津子 今田 豪 守田 輝夫

酒井 玲子 長島 安雄 (以上、ジャグラ事務局)

斎藤 成 (東京グラフィックス / 広報委員)

藤尾 泰一 (有)インフォ・ディー / 広報委員)

日経印刷(株) (校正のみ)

◎渉外 並木 清乃 守田 輝夫

◎広告 酒井 玲子

◎Web 阿部奈津子

◎動画 今田 豪

◎組版 / デザイン (有)インフォ・ディー

DTP = Adobe CS6/CC ほか

フォント = モリサワ 0TF / モリサワ BIZ+ ほか



※本誌の一部にユニバーサルデザインフォントを使用しています

◎印刷 日経印刷(株) (東京・千代田支部)

RIP = 大日本スクリーン Trueflow

CTP = 富士フイルム XP-1310R

刷版 = 大日本スクリーン PT-R8800ZX

印刷機 = ハイデルベルグ社 SM102-8P

インキ = DIC

用紙 = 三菱ニューVマット FSC-MX 菊判 62.5kg

※本誌はFSC森林認証紙（管理された供給源からの原材料で作られた紙）とLED-UVインキ（リサイクル対応型）を用い、環境に配慮した印刷工場で生産されています。
<https://www.nik-prt.co.jp/>

Copyright 2021 JaGra

禁無断引用

※本誌記載の製品名は一般に各メーカーの登録商標です
 原則、TMや®マークは省略しています

※乱丁 / 落丁本はお取り替えいたします

RMGT 970 が あなたの SDGs を アシスト Assist

“誰一人取り残さない”社会の実現を基本理念とし、全世界へ向けての持続可能な開発目標を掲げた SDGs (Sustainable Development Goals)。消費者や企業が、社会や環境面に配慮した商品やサービスを求める傾向が高まる中、印刷会社もそのニーズに応えることが求められてきています。

RMGT 970 モデルは、オペレーターフレンドリーなユーザーインターフェースや作業負担を軽減する自動化 / 省力化機能をはじめ、損紙の削減や電力消費量低減によって省資源 / 省エネルギーに配慮した、人に地球に優しい印刷機です。さらに菊全判ジャストサイズによるコストメリットはもちろん、生産性や印刷物の付加価値を高める各種オプション機能も充実した、経営にも優しい印刷機です。

RMGT 970 モデルは、SDGs に取り組み、サステナブルな成長を目指すあなたの会社を強力にアシストします。



人に優しい

ワンボタン操作で楽々印刷の
スマートアシストプリンティングで人に優しい



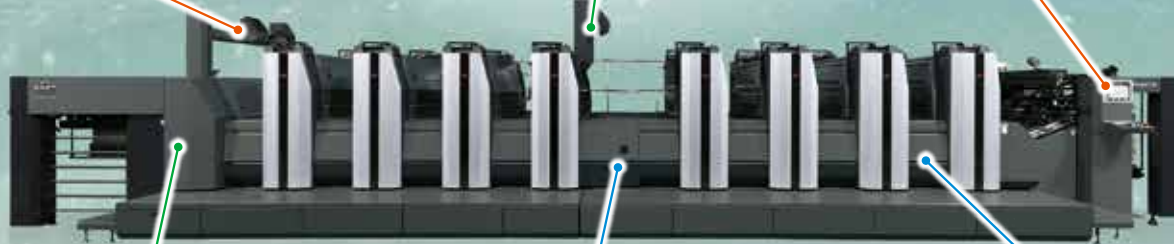
地球に優しい

品検・濃度・見当調整をインラインで行い
損紙を減らせる PQS-D で地球に優しい



経営に優しい

アイコンやグラフを使った誰にでも解りやすい
グラフィカルユーザーインターフェースで人に優しい



省電力で NonVOC な
LED-UV で地球に優しい

短納期に対応できる
ワンパス両面印刷で経営に優しい

刷版コスト、消費電力、設置スペースをセーブできる
菊全判ジャストサイズだから経営に優しい



リョービ MHI
グラフィックテクノロジー株式会社